

玉名市総合計画 後期基本計画進捗状況報告

(主要施策の概要に係る平成25年度末の進行管理調査報告)

平成26年10月
玉名市役所 企画経営課

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表(平成25年度末の状況)[H26年度7月調査]

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項(H25年度末の状況)					
基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分(細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨(最も細分した施策の要旨・細々たる節)	計画期間の具体的な目標(平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況(H25年度末現在)	平成25年度末の進捗状況の説明(H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)		
							項目	内容	
1 便利で快適なまちづくり	1 道路交通体系の整備	1 広域交通ネットワークの整備	11111	玉名バイパスは、今後、交通量を考慮しながら4車線化に向けた完全整備を促進していきます。	玉名バイパスは、今後交通量を考慮しながら4車線化に向けた完全整備を促進する。	6. 未着手	未着手の理由	平成23年3月の暫定2車線の全線開通後の将来交通量を考慮しながら、事業着手については十分検討する必要があるため。	
			11121	今後利便性の高いアクセス道路の整備に努めます。	新玉名駅や新幹線の利用者増加を図るため、県道・市道を含め利便性の高いアクセス道路の整備に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	新玉名駅への利便性向上のための周辺道路の整備促進については、県道の玉名立花線等道路整備開発期成会などの要望活動をはじめとして、アクセス道路の整備促進を図ってきた。	
			11122	県道(仮称東西道路)については、早急に県道玉名八女線まで接続できるように県との連携を強化し、整備を促進していきます。	新玉名駅から県道玉名八女線にアクセスする県道(仮称東西道路)は、計画延長約950mのうち約500mを供用中、残りの450mも早期完成に向け促進する。	2. 概ね達成	状況の説明	新玉名駅への利便性向上のため、周辺道路の整備促進を図った。特に県道(仮称東西道路)については、平成27年3月末の完成予定である。	
			11131	利便性が高く持続可能な交通体系の構築を目指します。	平成24年度中に、地域公共交通総合連携計画を策定する。平成25年度以降は、当該計画に基づき公共交通の再編成を実施し、効率的利便性が高い公共交通体系の構築を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成25年度は、地域公共交通総合連携計画に基づき市内の2路線のバスを廃止し、より広域をカバーする交通として乗合タクシーを導入した。	
			11141	広域幹線道路である国道や県道については、事業の促進に向けた積極的な要望活動を展開します。	広域幹線道路である国道や県道は、事業の促進に向けた積極的な要望活動を展開する。	8. 評価不能	評価不能の理由	広域幹線道路の国道や県道については、九州国道協会や各期成会等での取組みや要望活動を通して事業促進に向けて取り組んでいるが、路線が多岐に亘るため事業評価が困難である。	
			11151	有明海沿岸道路(Ⅱ期)の熊本市～大牟田市間については、候補路線から「計画路線」への指定に向けた積極的な要望活動を展開します。	有明海沿岸道路(Ⅱ期)の「計画路線」への指定に向け要望活動を展開する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	期成会による要望活動により、大牟田から長洲町の区間における国による「計画段階評価」が着手され、今後の有明海沿岸道路(Ⅱ期)全線の事業化への弾みとなった。	
			2 生活道路網の整備	11211	本市の都市計画に関する基本的な方針を示すため、『都市計画マスタープラン』を策定します。	計画期間(平成23～平成25年度)中において、都市計画区域再編後の新たな都市計画マスタープランを策定する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成25年度をもって、都市計画区域再編後の都市計画マスタープランを策定した。策定にあたっては、5回の策定委員会を開催し、「計画(案)」を取りまとめ、諮問機関である都市計画審議会に報告し、平成26年3月に計画(案)を決定した。
				11221	都市計画道路の整備は、平成19年度に見直した都市計画道路網の整備計画に沿って計画的、効率的に実施します。	都市計画道路の整備は、現在、66.14%の整備率である。残る未整備路線は、計画的・効率的に整備を進める。また、隣接市町を跨る路線の整備の可否について、関係市町と調整中であるため、平成25年度中に方向性を決定する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	都市計画道路については、引き続き計画的・効率的に整備促進を進めていく。また、熊本県及び各自治体と荒尾・玉名・長洲の3都市計画区域の広域幹線道路(都市計画道路)の見直し検討を行ったが、高規格道路である有明海沿岸道路の事業化に向けた進展が見られたため、再度、将来交通量を踏まえた見直し検討が必要との判断となり具体的な結論には至らなかった。
				11231	国道208号から市民会館を經由し温泉地区を結ぶ市道立願寺横町線は、平成24年度末の全線供用開始を目指して整備します。	市道立願寺横町線は、本市の中心市街地を形成する「玉名温泉地区」と「高瀬地区」を結び、沿線には国の合同庁舎、市民会館や新庁舎の建設予定位置などの公共施設が集積する重要な幹線道路であり、施工延長585m(外1線合)の整備を進める。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成25年3月に全長1,330m(施工延長585mを含む)の全線が開通した。
				11241	平成27年度末全線供用開始を目標に市道岱明玉名線を整備します。	市道岱明玉名線は、国の予算削減に伴い完成目標年度が平成27年から平成30年に変更となる。関係機関とも協議を行いつつ一部工事も実施している。	4. 進行中(前半)	状況の説明	起点部である県道長洲玉名線との交差点を整備中で、平成25年度では、交差点を跨る玉名平野幹線用水とフレッシュ・ウォーター三池の上水・工業用水を暗渠化し車輛が通行できるよう整備した。
		11251		市道玉名駅平嶋線の整備を検討します。	市道玉名駅平嶋線は、玉名バイパスと国道208号線の南北を結ぶ幹線道路として位置付ける路線であり、平成23年度の玉名駅の開業や玉名バイパス開通による都市環境や交通環境の変化等も踏まえ、事業の必要性を検討する。	6. 未着手	未着手の理由	平成23年度の玉名駅の開業や玉名バイパス開通による都市環境や交通環境の変化等や県が行なう境川改修計画の進捗状況も踏まえ、事業着手については、必要性を十分検討する必要があるため。	
		11261	危険性が高いJR踏切の拡幅改良については、JR九州と協議のうえ、道路改良と一体的に推進します。	現在砂天神踏切及び巖の神踏切について、JRと協議を進め拡幅改良に努める。	5. 着手	状況の説明	小島橋からの南部方面アクセス道路でもあり、事業効果が高い、砂天神踏切から事業を実施して、国土交通省やJRとの事前協議が概ね完了した。平成26年度から用地買収に入る予定である。		
		11271	生活道路網は、舗装、新設・改良、側溝改良などの計画的な整備を図り、市民の利便性の向上と安全の確保に努めます。	生活道路網は、舗装、新設・改良、側溝改良など、計画的に生活道路網の整備を図り、市民の利便性の向上と安全の確保に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	舗装工事=32路線 新設道路改良工事=32路線 側溝改良工事=23を 整備しました。		
		3 「15分構想」の推進	3 「15分構想」の推進	11311	市域内交通のネットワークを整備し、「15分構想」を推進し、市域内交通の利便性と定時性を確保に努めます。	市域内交通の利便性と定時性を確保に資するための関連道路の整備や公共交通機関の充実を資する施策の推進に努める。	8. 評価不能	評価不能の理由	計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが難しく、また、他の道路整備に関する施策にも複数にわたり重複するため。
				11321	JR鹿児島本線より南部方面からの中心市街地への交通アクセス機能の向上を推進します。	部分的に道路改良等をおこない、JR鹿児島本線より南部方面からの中心市街地への交通アクセス機能の向上に向け事業を進める。	8. 評価不能	評価不能の理由	他の道路整備に関する施策にも複数に亘り重複するため。
11322	岱明玉名線の整備は、関係機関の理解を得ながらその取組を推進します。			岱明玉名線の整備は、国の予算削減に伴い完成目標年度が平成27年から平成30年に変更する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	起点部である県道長洲玉名線との交差点を整備中で、平成25年度では、交差点を跨る玉名平野幹線用水とフレッシュ・ウォーター三池の上水・工業用水を暗渠化し車輛が通行できるよう整備した。		
11323	南廻りバイパス(仮称)などの整備は、関係機関の理解を得ながらその取組を推進します。			都市の外環状の形成に資する南廻りバイパス(仮称)などの整備は、関係機関の理解を得ながら取組を推進する。	6. 未着手	未着手の理由	関係機関や地域住民意向などを踏まえ、事業性や必要性を考慮しながら検討する必要があるため。		

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)									
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細目 No.	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細目・細目)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)					
								項目	内容				
2	公共交通の充実	1	3	11331	市道小浜繁根木線の道路拡幅や砂天神踏切の拡張を図ります。	小島橋を利用する市民の利便性の向上に資するため、市道小浜繁根木線の道路拡幅や砂天神踏切の拡張を図る。	5. 着手	状況の説明	道路部と踏切部の全区間の詳細設計を終え、国土交通省やJRとの事前協議が概ね完了した。平成26年度から用地買収に入る予定である。				
				11332	松木地区、六田地区のその他の道路改良に努めます。	小島橋を利用する市民の利便性の向上に資するため、松木地区、六田地区のその他の道路改良を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	現在、松木地区の側溝を含めた道路改良工事を行っている。				
				12111	駅前広場を除く新玉名駅周辺整備構想区域(35.6平成a)において、開発における諸手続きやインフラ整備などを市が支援することで民間活力による開発を誘導します。	新玉名駅周辺整備構想区域に進出しようとする事業者があった場合は、庁内関係課と連携して開発の実現を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成25年度、相談はあるものの、具体的に進出する動きがないことにより進捗が停滞している。				
				12112	新玉名駅周辺の開発については、周囲の田園風景との調和にも配慮した景観の形成に努めます。	新玉名駅周辺整備構想区域に進出しようとする事業者があった場合は、周辺の景観との調和に配慮するよう事業者へ要請する。	8. 評価不能	評価不能の理由	具体的に進出した事業者がなかったため。				
				12113	新玉名駅の駐車場は、目的に沿った利用の指導や、規模の再検討も視野に入れた有効策の実施に努めます。	新玉名駅の駐車場は、目的に沿った利用の指導に努めるとともに、規模の再検討も視野に入れた有効策の実施に努める。	3. 進行中(後半)	未着手の理由	現在、新玉名駅利用者の調査(3日)を行い、今後、有効策を視野にいれて実施し始める。				
				2	バス路線網の整備	1	12211	路線バスの運行や利用の状況、地域住民の意向調査など地域交通の実態把握に努めます。	平成24年度中に、路線バスを含む市内公共交通の実態や利用状況等について、事業者や利用者へのヒアリング、アンケート調査を実施し、地域公共交通総合連携計画を策定する。	1. 達成(完了)	状況の説明	事業者や利用者へのヒアリング、アンケート調査を実施し、それらを基にして地域公共交通総合連携計画を平成24年度に策定した。	
							12212	今後の人口構造や社会構造の変化なども踏まえた地域公共交通のあり方を検討します。	今後の公共交通のあり方を示した地域公共交通総合連携計画を平成24年度に策定する。非効率なバス路線の見直し、交通空白地域の解消、わかりやすいバス路線の実現などを計画期間中(平成29年度まで)に行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	本市のバス路線の現状と課題を把握し、「地域公共交通総合連携計画」に掲げる「シンプルでわかりやすいバスへの転換」等の事業を一体的に推進する方向性を確認した。	
							12213	交通空白地域の解消を図りながら、財政負担にも配慮した持続可能な交通体系の構築を目指す。	平成24年度に地域公共交通総合連携計画を策定し、同計画に基づき交通空白地域の解消を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成25年度は、地域公共交通総合連携計画に基づき滑石、大浜、大野、高道、鍋、横島校区の交通空白地域をカバーするための乗合タクシー運行を開始した。	
							12221	阿蘇方面につながる広域観光バスの運行については、実現に向けて運行事業者に対する働きかけを実施します。	事業者の自主運行を基本として、広域観光バスが実現するよう関係機関に対して働きかけを実施する。	6. 未着手	未着手の理由	前年(24年)度県北における観光地への入りこみ状況等の実態を把握したが、事業者に働きかける前の諸条件整理が出来ていないため。	
							12231	バス路線網の整備に当たっては、危険箇所や道路幅員などの調査を実施し、走行性と安全性の確保を図ります。	バス事業者等と連携の上、バス路線上の危険箇所を調査し、関係機関に対して安全確保に向けた措置を働きかける。	6. 未着手	未着手の理由	平成24年度に策定した地域公共交通総合連携計画において、「バス停環境の充実」を短期的に優先して取り組む事業に位置づけられた段階であるため、具体的な事業展開は今後実施する。	
							2	公営住宅の整備	1	13211	公営住宅の建設や老朽化が著しい既設公営住宅などの改修は、『玉名市公営住宅等長寿命化計画』に沿って計画的に実施します。	公営住宅等ストックの適切なマネジメントを行い、団地別・住棟別の活用方法を定め、安全で快適な住まいを確保するため長寿命化計画に沿って計画的に実施する。	4. 進行中(前半)
				13111	優良な民間企業の住宅開発の誘導に努めます。	民間の住宅開発が行われるよう、行政としてできることは何かを検討する。				3. 進行中(後半)	状況の説明	平成23年度に定住促進補助金を整備し、住宅の取得を促進することで、側面から住宅の開発を促している。	
				13121	『玉名市スマイル構想』(定住化基本構想)に掲げる施策の実現に努めます。	関係機関との調整や働きかけ等により、構想に掲げた施策の実現を図る。				3. 進行中(後半)	状況の説明	定住促進補助金の創設、観光PRの充実と広域化、新玉名駅における観光案内・観光イベントの実施、定住情報ポータルサイトの開設、定住相談会などが完了あるいは着手済み。	
				4	公園・緑地の整備	1	1	14111	現在(平成23年度)の緑地水準を維持し、適切な公園管理を実施します。	現在の緑地水準を維持し、公園、緑地を憩いの場として、安全、安心に利用できるように日常の管理や遊具施設の修繕などを行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	河川緑地と公園を日頃から施設などを点検、修繕などを実施している。
								14121	総合公園と運動公園は、地域住民の憩いの場、レクリエーション、コミュニティ活動や災害時の広域避難場所として位置づけ計画的な整備を図ります。	総合公園と運動公園は、地域住民の憩いの場、レクリエーション、コミュニティ活動ができるように公園管理を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	桃田運動公園ならびに蛇ヶ谷公園はシルバー人材で維持管理を実施している。
14131	老朽化した公園は再整備を図ります。	市民の憩いの場となる公園は、平成21年度から25年度までの5ヶ年計画で安全・安心に利用できる公園を目標に改築更新を行う。	3. 進行中(後半)					状況の説明	都市公園うち7公園を安全・安心で利用できるように遊具などの整備を行なった。				
14132	地域住民による公園管理も支援します。	広く市民の方に利用されている都市公園を地域住民による環境美化を委託し公園管理を支援する。	3. 進行中(後半)					状況の説明	地域住民による都市公園(29)および河川緑地(4)を地域住民による維持管理を実施している。				

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)					
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)		
							項目	内容	
2 「花の都 玉名」づくりの推進	5	1	14211	玉名21の星事業を推進し、これを継承していく人材の育成を支援します。 (※花づくりによるまちづくりに限る)	花づくりを実施するまちづくり委員会に対して、可能な支援を実施する。21の星事業が終了する平成28年度以降について、地域づくり団体を支援する新たな施策を検討する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	花づくりを企画したまちづくり委員会に21の星事業により支援した。(※21星事業の前身である「一区一輝運動」においては花づくりを必須事項としていたが、21の星事業ではまちづくり委員会が自ら企画した事業に行政が支援する制度としている。)	
			14212	小・中学校や各種団体による「花の都玉名」づくりを推進し、これを継承していく人材の育成を支援します。	「花の都 玉名」を目指し各校区まちづくり委員会や小・中学校を中心とした花づくり活動を支援する。	5. 着手	状況の説明	平成25年度決算：10,095千円	
	5	1	15111	中心市街地においては、建物や商業施設の形態、色彩、看板などについて、景観形成基準の設定も視野に入れ、調和のとれた統一感のあるまちなみ景観の形成を推進します。	都市景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	5. 着手	状況の説明	平成25年度は、景観形成の推進に向けて庁内の関係課による検討会議を立上げ、その必要性を検討するとともに市民アンケート(無作為2,000人:回収数781名、回収率39.5%)を実施し、市民の景観に関する意向調査を実施した。平成26年度から2箇年をかけて景観計画策定業務に取り組み。	
			2	15211	菊池川をはじめとする河川や山並みの景観形成は、自然の風景を十分配慮した修景整備を実施し、都市の潤い空間として自然景観が阻害されないよう保全を図ります。	自然景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	5. 着手	状況の説明	平成25年度は、景観形成の推進に向けて庁内の関係課による検討会議を立上げ、その必要性を検討するとともに市民アンケート(無作為2,000人:回収数781名、回収率39.5%)を実施し、市民の景観に関する意向調査を実施した。平成26年度から2箇年をかけて景観計画策定業務に取り組み。
			3	15311	行政とまちづくり団体が連携して豊かな景観形成を推進します。	行政とまちづくり団体が連携して豊かな景観形成を推進するため、都市景観や自然景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	5. 着手	状況の説明	平成25年度は、景観形成の推進に向けて庁内の関係課による検討会議を立上げ、その必要性を検討するとともに市民アンケート(無作為2,000人:回収数781名、回収率39.5%)を実施し、市民の景観に関する意向調査を実施した。平成26年度から2箇年をかけて景観計画策定業務に取り組み。
	6	1	1	16111	市光ファイバー網幹線の電線共同溝への入溝などによる災害や事故に備えます。	国土交通省施工の電線共同溝工事(通信分)が平成24.2月末にて完了し、本市移設を平成24.4.28～4.30にてL=約1,575mの共同溝への敷設、電柱へ添架している光ケーブル撤去を行う。	1. 達成 (完了)	状況の説明	国土交通省が整備した国道208号電線共同溝(商工会館～松本学園)へ当該区間の電柱へ添架していた光ケーブルの移設を行った。
				16112	万が一の場合にも業務への影響がないようバックアップ回線を設置します。	本市ネットワークは、自設光ファイバケーブルにより本庁・各支所・外局施設を接続している。災害・事故等により光ファイバの断線により市民サービス及び業務停止が無いよう、通信事業者が提供している通信網をバックアップ回線として利用することにより業務継続を目的とし整備を行う。	1. 達成 (完了)	状況の説明	自設光ケーブルにより本庁・各支所・外局施設を接続している。災害・事故等により光ファイバの断線により市民サービス及び業務停止を防止するため、通信事業者が提供している通信網をバックアップ回線として整備を行った。
			2	16121	外部ネットワークとの接続に際し、ファイアウォールなどによる不正侵入などの防止を図ります。	外部(インターネット)から内部(市ネットワーク)への不正侵入等による盗み見・改ざん・破壊を防止することにより、内部ネットワークの安全を維持する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	外部(インターネット)から内部(市ネットワーク)への不正侵入等を防止するため、ファイアウォールを設置し、監視を行っている。
	3	1	16122	職員への市セキュリティポリシーの周知・徹底を実施し情報漏えいなどインシデント防止を図ります。	情報セキュリティを取巻く脅威や対策は常に変化している。玉名市セキュリティ委員会を開催し、職員研修及び情報セキュリティ監査の計画、実施、報告を行い、PDCAサイクルによる強固なセキュリティ対策に努める。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	玉名市セキュリティ委員会の開催、職員研修及び情報セキュリティ監査(自己点検)を全職員(臨時等職員含む)に実施し、PDCAサイクルによる強固なセキュリティ対策に努めている。	
			16131	サーバ機器保守期限となる平成27年度に予定するシステムの更新のため、平成25年度をめどに再評価を実施し更新に備えます。	サーバ機器保守期限となる平成27年度システム更新予定に向けて、既存システムの再評価を行い、次期システムを検討し平成27年度までに次期システム、サーバ機器導入を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	平成25年度は、基幹業務システム選定委員会を開催し、更新の方針を決定した。	
			16132	アプリケーションソフトなどを充実(各種行政システムの導入)することにより、情報サービスの充実を図ります。	各電算システムのバックアップ、改修、業者作業管理、障害対応、原課からの電算システム使用に関する問い合わせ対応、必要な資料の作成、システム権限の付与等を行い情報システム運用の充実を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	平成25年度は、電算システムの保守管理を行いシステム、サーバ機器の定期的な保守点検を実施した。また、障害発生時の早急な対応や原課からの質疑事項、資料作成等の対応を行い情報システム運用の充実を図った。	
	2 人と自然にやさしい環境のまちづくり	1	1	21111	県と連携した地下水採取量調査や地下水定期モニタリング水質検査を実施します。	県が実施する地下水採取量調査や地下水質検査に係る対象者への文書発送、連絡調整、調査票の回収等を毎年度行う。	5. 着手	状況の説明	平成24年度地下水採取量報告の書類回収、県への進達等の事務を平成25年度に行った。 地下水質調査は市内17箇所を行った。
21112				地下水の汚染防止と保全対策を推進します。	熊本県有明保健所が毎年行われる、市内17箇所の地下水質調査に協力する。	5. 着手	状況の説明	熊本県有明保健所と連携し、市内17箇所の地下水質調査を行った。	
2		1	21211	菊池川流域同盟の活動について、水質調査、清掃事業、水援隊事業のほか、「菊池川の日」の制定意義を内外にアピールします。	毎年、「菊池川の日」事業等の河川環境啓発を行い、菊池川流域同盟加入9市町においていっせいに河川水質調査において水質の改善を目指す。	5. 着手	状況の説明	水質調査等を実施して、河川の水質監視を行うとともに、「菊池川の日」事業の実施により、「菊池川の日」制定意義の普及啓発を行った。	
			21212	廃油石けん作りコンテストや子どもへの環境学習を取り入れたイベントなどを積極的に実施し、市民の水質浄化意識の向上に努めていきます。	菊池川流域同盟の「菊池川の日」事業において積極的に廃油石けんや河川水質に関する展示を行う。	5. 着手	状況の説明	「菊池川の日」事業において廃油石けんの展示や配布等を行い意識の向上に努めている。	

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)											
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策№	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)							
								項目	内容						
				2	21221	菊池川流域同盟の環境保全活動を核とする「環境の先進地、環境立都 玉名」をインターネットなどメディアを通じ、全国へ情報発信します。	広報やインターネット等のメディアを通じ情報を発信する今後提供する情報の種類を増加させる。	5. 着手	状況の説明 インターネットを通じてポータル情報等の発信を行っている。						
				3	21231	市民へ生活排水路の定期的な清掃を促し浄化機能や美観を維持保全することで、河川の環境保全を推進します。	排水路に限らず区役等のボランティア活動にて清掃活動をする場合には、ボランティア袋の提供などを行い環境保全に役立てる。	5. 着手	状況の説明 現在、ボランティア袋の提供や環境啓発の看板の提供を行っている。また、河川の環境については定期的な水質検査を行っている。						
				3	森林環境の保全	1	21311	森林は、景観保全、地下水かん養などの面から開発との調和を図りながら自然環境の保全に努めます。	水源かん養、生物多様性保全など重視すべき森林の機能に応じた森林整備を図るため、玉名市森林整備計画に基づき保安林の指定やその適切な管理により自然環境の保全を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 太陽光発電施設設置の普及に伴い、林地開発及び森林の伐採件数が増加している。それらが玉名市森林整備計画に適合するかを見極めながら、自然環境の保全と開発の調和を図るとともに、無届の開発及び伐採がないかの巡回指導を実施している。				
				4	「環境の先進地、環境立都 玉名」の推進	1	21411	様々な公害に対する情報把握に努めるとともに、市民の不安を解消し、苦情などの処理には迅速に対応します。	快適な市民生活を脅かす様々な公害の苦情申立てがあった場合、速やかに情報収集に努め、迅速に対応し、市民不安の解消に努める。	5. 着手	状況の説明 公害苦情に迅速に対応し、市民の不安解消に努める。				
							2	21421	環境の保全や創造について基本理念を定めます。	環境の保全や創造について基本理念を定めるため、平成26年4月1日施行を目標に「環境基本条例(仮称)」を制定する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 「玉名市環境美化に関する条例」と連携した様々な施策を計画的に進めるための「環境基本計画」を策定した。			
							2	21422	市民一人ひとりの環境美化に対する意識を高めるための環境基本条例(仮称)の制定に努めます。	市民一人ひとりの環境美化に対する意識を高めるため、玉名市環境美化に関する条例を制定する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 「玉名市環境美化に関する条例」を制定し、平成24年6月1日に施行した。			
							1	22111	地域や学校への環境学習の出前講座を実施します。	市民一人ひとりの環境保全意識を高めることが快適な生活環境の確保につながるため、環境学習講座を年1回以上行う。	5. 着手	状況の説明 市内の小学生が参加する「川の環境調査」を8月に実施した。			
				2	環境保全への意識啓発	1	環境保全活動の意識啓発の推進	22112	家庭などにおけるグリーン購入やリサイクル活動の推進を通じて環境保全意識の向上に努めます。	家庭などにおけるグリーン購入やリサイクル活動の推進を通じて環境保全意識の向上のため、ホームページ等で啓発を行う。	5. 着手	状況の説明 市ホームページでマイバッグ利用に関する啓発を行った。			
								2	22121	保育所や幼稚園、小・中学校での環境学習やリサイクル活動、環境美化活動を推進します。	保育所や幼稚園、小・中学校での環境学習やリサイクル活動、環境美化活動を推進するため、環境学習に有用な情報の提供及び環境学習を実施する。	5. 着手	状況の説明 市内の小学生を対象とした「環境学習事業」を実施した。		
								3	22131	ISO14001やエコアクション21などの企業の環境活動に対する意識の啓発を推進します。	企業の環境活動に対する意識の啓発を推進するため、平成26年度中にホームページ等で啓発を行う。	6. 未着手	未着手の理由 平成25年度は啓発活動を行っていない。平成26年度から実施する。		
								2	環境保全活動の支援	1	22211	ホームページなど情報サービス機能を活用し、市民グループやNPOなどの環境保全推進団体の活動実績を紹介しします。	自主的団体が環境活動の推進母体となり得よう、随時、市広報、ホームページ等で紹介を行う。	5. 着手	状況の説明 市の広報誌に団体の活動状況を掲載した。
											22212	団体の新規結成や既存団体の活動を支援します。	自主的団体が環境活動の推進母体となり得よう、現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。	5. 着手	状況の説明 エコの環たまなへ補助金を交付し活動の支援を行った。
22213	自主的団体が環境活動の推進母体となり得よう支援します。	現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。	5. 着手								状況の説明 エコの環たまなへ補助金を交付し活動の支援を行った。				
2	22221	エコ活動を行う事業者や市民団体などへの支援を継続します。	エコ活動への関心、参画の拡大に努めるため、現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。								5. 着手	状況の説明 エコの環たまなへ補助金を交付し活動の支援を行った。			
22222	定期的に広報紙などで(エコ活動を行う事業者や市民団体などの)活動状況を広く周知し、エコ活動への関心、参画の拡大に努めます。	エコ活動への関心、参画の拡大に努めるため、定期的に広報紙等で紹介記事等を掲載する。	6. 未着手					未着手の理由 平成25年度は広報誌掲載等による周知を行っていない。平成26年度から実施する。							
3	新エネルギーの導入	1	新エネルギー導入の推進	2	23111	公共事業関連での新エネルギー導入は、関係課と連携し、環境に配慮した機材や施工方法を用いるよう意識啓発に努めます。	新エネルギーやCO2排出量削減を目的とした機器について情報の提供を行う。	5. 着手	状況の説明 現在、各関係機関より情報提供があった場合に各課に情報を提供している。						
				2	23121	住宅用の太陽光発電機設置に対する支援を設置世帯数で年間200軒前後の純増を目標として引き続き実施します。	太陽光発電システム設置に対し、年間約200件の補助を行う。	5. 着手	状況の説明 平成25年度は215件の補助金を支出し、目標件数を補助した。						

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)					
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
		2 省エネルギーの推進	1	23211	公用車の買い替えの際には、ハイブリッド自動車などの導入を積極的に検討し、可能な限り実施します。	合併後、市長車をはじめ3台のハイブリッド自動車を導入し、現在も利用中である。今後の全体的な公用車の管理について、平成25年度中を目処に公用車適正配置計画(仮称)を策定し、適正な台数の確保と管理を進め、買い替えの際にはハイブリッド自動車などのエコカー導入を検討する。	5. 着手	状況の説明 平成25年度中は、公用車の買い替え予定がなかったため、年度末現在の導入実績は、既存のハイブリッド自動車の3台。	
	4 上水道・下水道の整備促進	1 上水道などの整備	1	24111	上水道事業は、年次整備計画に基づき未普及地域の解消、老朽化した施設や配水管の更新を計画的に推進します。	上水道事業は、未普及地域の整備及び老朽化した施設、配水管等の更新を行う。	5. 着手	状況の説明 平成25年度末での、上水道整備率は74.6%であり、更新時期を迎えている水道施設の機器の交換及び配水管の更新を優先して行った。	
				24112	上水道事業は、運転管理や維持管理体制の効率化を目指します。	上水道事業は、運転管理や維持管理体制の効率化を目指すため、運転管理を平成23年度より複数年契約、維持管理は単年度契約で実施する。	5. 着手	状況の説明 運転管理については、複数年契約、維持管理は業務内容の性質上、単年度契約で実施しているが、どちらも効率的に業務を行っている。	
			2	24121	配水池やポンプ室などの基幹構造物や管路の耐震補強や更新を進めます。	新設及び更新工事の管路は、耐震管を採用していく。また老朽化した施設もあり、基幹構造物の耐震補強計画は未策定であるため、早い段階で計画し財政面も考慮しながら事業を実施していく。	5. 着手	状況の説明 平成25年度において、耐震管布設をL=2,897m実施した。耐震補強計画として、平成24年度に東部地区(菊池川左岸)基本計画見直し業務委託を発注しており、これに基づき整備着手時期を検討していく。	
			3	24122	災害時の応急給水拠点を整備するための『拠点設置計画』などの策定に努めます。	災害時の対応は、「玉名市地域防災計画」に基づき実施するため、『拠点設置計画』は策定しない。	7. 計画中止	評価不能の理由 各主要施設の改良事業に併せて拠点整備を行うため、『拠点設置計画』の策定は行わない。	
			3	24131	簡易水道事業は、配水管の更新時期も迎えているため、統合計画に基づき施設や配水管の更新を推進します。	簡易水道等施設整備費(生活基盤近代化事業 補助率1/3)により計画期間中(平成23~平成27年度)、天水東地区の老朽化した施設及び配水管の更新を実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 平成25年度において、主要施設(中継ポンプ場2箇所)の更新及び配水管布設をL=3,563m実施した。	
		2 下水道などの整備	1	24211	公共下水道事業は、今後も更に計画区域内の認可拡張を実施し、早期完了を目指します。	公共下水道事業は、平成28年度の処理区域内人口33,400人を目標とし、今後も全体計画区域内の認可を拡張し、未整備地区の早期完了を目指す。	3. 進行中(後半)	状況の説明 平成25年度は既認可区域の整備を行った。今後も全体計画区域内の認可を拡張し、未整備地区の早期完了を目指す。	
				24212	公共下水道事業は、要望の高い未整備地区の新規着手に努めます。	公共下水道全体計画区域外の未整備地区については、平成25年度に玉名市生活排水処理施設整備構想の見直しを行い、個人設置型浄化槽による整備手法に決定したため、公共下水道事業では整備を行わない。	7. 計画中止	状況の説明 公共下水道全体計画区域外の未整備地区については、平成25年度に玉名市生活排水処理施設整備構想の見直しを行い、個人設置型浄化槽による整備手法に決定したため、公共下水道事業では整備を行わない。	
			2	24221	玉名市浄化センターの機械や電気設備の改築を進めることにより施設の長寿命化を図ります。	玉名市浄化センターの長寿命化として、機械、電気設備の更新を図る。平成25から平成29を予定。	3. 進行中(後半)	状況の説明 平成25年度は平成24年度実施した実施設計を基に汚泥処理施設及び水処理施設の改築更新を行った。	
				24222	玉名市浄化センターの経営においては補助制度を活用し建設投資や維持管理の一層の効率化に努めます。	玉名市浄化センターの長寿命化は、補助制度を最大限活用し、該当しない設備は単独による修繕を行う。また、維持管理の効率化にも努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明 平成25年度長寿命化工事をを行った。	
			3	24231	菊池川左岸(豊水、伊倉、八喜の一部)の下水道は、地域の意見などを踏まえ整備手法など検討を引き続き実施します。	菊池川左岸(豊水、伊倉、八喜の一部)は、玉名市生活排水処理施設整備構想に基づき、地域の意見などを踏まえ整備手法などを検討する。	1. 達成(完了)	状況の説明 菊池川左岸(豊水、伊倉、八喜の一部)については、地域の実情に基づき、平成25年度に玉名市生活排水処理施設整備構想の見直しを行い、個人設置型浄化槽による整備手法に決定した。	
			4	24241	新幹線新玉名駅周辺の汚水整備計画は、今後の開発状況に添った適正な下水道事業を引き続き推進します。	新幹線新玉名駅周辺の汚水整備計画は、今後の開発状況に添った適正な下水道事業を推進するため、認可取得を目指す。	5. 着手	状況の説明 下水道認可取得のため、整備手法などを検討し、関係機関と協議を行った。	
			5	24251	立願寺の雨水対策は、今後の整備手法について、慎重に検証し対応します。	立願寺の雨水対策は、市計画道路の完成とともに雨水幹線が整備され、繁根木川の改修も同時期に実施されたことで、浸水地区内の排水機能が高まり改善がみられるため、状況を確認しながら今後の整備手法を検討します。	4. 進行中(前半)	状況の説明 平成19年度に雨水幹線が整備完了し、浸水区域内の排水機能が高まり、現在のところ大きな被害は発生していないため、整備手法について今後も慎重に検証し対応する。	
			6	24261	浄化槽の設置者に対する設置費補助金の交付や、市町村設置型の整備について、今後も積極的に推進するための啓発活動に努めます。	住宅に個人設置型浄化槽を設置する場合に人槽に応じて補助金を交付する。特にくみ取りや単独処理浄化槽を利用している家庭に合併浄化槽への転換を促す。	4. 進行中(前半)	状況の説明 個人設置型浄化槽については129基、市町村設置型浄化槽は16基設置した。	
				24262	「水のきれいな都 玉名」の実現を目指します。(※浄化槽の設置以外施策によるもの)	公共下水道、農業集落排水、浄化槽の各事業を用いて汚水処理の整備を進め、住環境の改善および公共用水域の保全に努め、「水のきれいな都 玉名」の実現を目指す。	3. 進行中(後半)	状況の説明 公共下水道、農業集落排水、市町村設置型浄化槽の各事業実施地区は、今後も整備を進め、住環境の改善および公共用水域の保全に努め、「水のきれいな都 玉名」の実現を目指す。	
			7	24271	横島地区の農業集落排水事業は、今後は、経年劣化による機能低下が懸念される汚水処理場などの改修計画を立てて機能の強化を実施します。	横島地区処理場の機能強化及び各住宅に設置してある真空弁システムの更新を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明 24年度に実施計画をし、25年度に真空弁の更新、26年度に処理場の機能強化を実施する。	
			8	24281	天水地区の汚水処理対策は、今後、地区住民が求める下水道施設による汚水処理を含め、最も適切な汚水処理の整備手法の検討を図り、その実現に努めます。	天水地区(農業集落排水処理区域以外)は、玉名市生活排水処理施設整備構想に基づき、地域の意見などを踏まえ整備手法などを検討する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 天水地区(農業集落排水処理区域以外)については、地域の意見などを踏まえ見直しを行った結果、今後も市町村設置型浄化槽による整備を推進する。	

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)							
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策№	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)			
								項目	内容		
5	安心安全なまちづくり	1 防災体制の強化	1	25111	災害時における連絡体制や役割分担などについて、防災関係機関、民間事業者と事前に調整を実施するなど、一層の連携・協力体制の充実を図ります。	災害時における救援物資の提供と応急対策活動等の協定調整を実施するなど、一層の連携・協力体制の充実を図る。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 災害物資協定業者及び災害復旧応急対策に伴う建設協会やライフラインの復旧活動を行う電気工事業者共同組合や管工事業者協同組合、又災害時における廃棄物の処理等を産業廃棄物協会と災害協定を締結している。			
				25121	危機管理意識の啓発は、市、防災関係機関、自主防災組織などとの連携を強化し、市民の防災意識の高揚を図ります。	地域住民一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで守る」という連帯意識の下に、組織的な防災活動を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 自主防災組織での訓練や活動のための資機材を支援することで自主防災組織の育成強化を図る。			
				25131	常備消防については、災害態様の複雑多様化に対応するため、救助に関する教育訓練体制の充実や救助業務実施体制の充実・強化を促進していきます。	地域住民が安心して暮らせるように、住民の生命、身体、財産を火災等から保護し、その被害を軽減を図る。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 常備消防の充実・強化の促進のため、有明広域行政事務組合に消防費を負担している。			
				25132	非常備消防は、団員確保と体制強化を図るため組織再編を検討するとともに、活動に必要な資機材、装備、施設などを充実し、消防団活動の充実を図ります。	消防団員確保と体制強化を図るため組織再編を検討する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 消防団を40分団から10分団に再編し、支援団員制度を導入することで消防団の体制強化を図る。			
				25141	平時からの防災意識の高揚を図ります。	市民の防災意識の高揚を図るため、防災講演会や研修会等を開催し、防災啓発を継続して実施する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 県との連携による啓発活動及び講演会等を実施し、市民の防災意識の向上を図る。			
					25142	防災訓練などに市民が参加しやすい工夫を凝らし、地域の防災力の一層の向上を図ります。	市民、関係機関、玉名市が一体となって実践的な防災訓練を実施する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 災害時、迅速に対応を行うため、関係機関との連携を密にし、安心安全なまちづくりのため、市民の自助、共助による防災意識の向上を図る。		
					25143	自主防災組織については、更なる組織率の向上に努めていきます。	地域の防災力強化のため、さらに自主防災組織の結成促進・活動力向上に取り組む。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 自主防災組織育成事業補助金を活用し、防災訓練や活動のための資機材を支援することで自主防災組織の結成促進や活動力向上を図る。		
				25151	自然災害、危険物災害などの発生に備えた防災行政無線は、各支所の機器が異なるため、その統合・デジタル化を図ります。	将来、玉名、岱明、横島、天水の4つの親局を1つに統合し、アナログから完全デジタル化を図る。	6. 未着手	未着手の理由 平成29年度から各地区の4つの親局を統合し、デジタル化を図る			
				2	治水の強化	1	25211	水害の多発地帯では河川の改修を推進します。	水害の多発地帯では、災害復旧工事等により河川の改修を推進する。	8. 評価不能	評価不能の理由 国、県の推進状況もあり、市だけでは評価できない。
							25221	県管理区間の境川については、境川改修事業促進期成会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化します。	県管理区間の境川は、境川改修事業促進期成会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化する。	5. 着手	状況の説明 県管理区間については、JR～国道208号間の用地交渉を行い、国道208号橋梁架け替えに伴う工事に着手した。また、境川改修事業促進期成会を通して、河川改修の早期完成に向けて取り組んだ。
		25222	境川については、市管理区間も下流とのバランスを考慮しながら計画的な整備を推進します。				市管理区間の境川は、下流域とのバランスを考慮しながら計画的な整備を推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 平成24年度に予備設計を実施済み。今後は、下流の県河川整備の進捗をみながら詳細設計の時期を検討して行く。		
		25231	唐人川、尾田川については、唐人川・尾田川改修及び流域整備事業促進期成会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化します。	唐人川、尾田川は、唐人川・尾田川改修及び流域整備事業促進期成会の活動を通して、河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化する。	5. 着手	状況の説明 県道下流域の用地交渉を行い、改修工事の着工に向けて取り組んだ。また、唐人川、尾田川改修及び流域整備事業促進期成会を通して、河川改修の早期完成に向けて取り組んだ。					
			3	交通安全対策の強化	25311	交通安全対策は、主要道路や通学路の歩道整備を引き続き推進します。	交通安全対策としての主要道路や通学路の歩道整備は、適宜、部分的な改良等を実施する。	8. 評価不能	評価不能の理由 歩道新設整備は、複数の箇所でも適宜、部分的な改良等を行っており、一概に評価できない。		
		25321			「高齢者の交通安全の確保」「自転車の安全利用の推進」「シートベルトの全席着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底」「飲酒運転の根絶」に重点をおいた交通安全意識の啓発や交通安全教室を実施します。	第9次玉名市交通安全計画(平成23年度～27年度)において設定している目標に準じ、平成27年までに24時間交通事故死者数を2人以下、年間の交通事故負傷者数を420人以下とする。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 交通事故負傷者数は減少傾向にあり平成25年中は399人と目標を達成しているものの、24時間交通事故死者数は4人と未だ目標を達成できていない。関係機関と連携し目標達成に向けた取り組みを推進する。			
		4	防犯対策の強化	1	25411	行政区、学校、家庭、職場への広報活動を充実させ、地域防犯組織の育成を図ります。	警察をはじめとする関係機関からの情報を防犯活動に取り組みボランティア団体等に適時提供する。また、広報紙に掲載し市民の防犯意識の高揚を図り、防犯組織の育成に努める。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 警察をはじめとする関係機関からの情報は、直接fax等にて防犯団体に適時提供されており、市では、広報紙や防災無線を活用し交通・防犯関係の啓発を実施中。		
					25412	防犯対策の強化に努めます。(※地域防犯組織の育成を除く。)	青/白巡回未実施のPTAや補導員等の防犯協力団体に青色/白の活用を働きかけ、年間を通じた青/白による巡回強化を図る。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 生涯学習課と連携し、PTAや青少年センター補導員による青/白巡回を実施中。		
				25421	学校周辺をはじめとする危険箇所の把握を関係団体と連携し実施します。	玉名警察署、学校、関係課と通学路等の安全点検を今後も実施し、これらの関係機関と連携を取りながら危険箇所の解消に努める。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 学校等から寄せられる通学路の危険箇所については、教育総務課にて取りまとめのうえ、玉名警察署、関係部署と連携しその解消に取り組んでいる。			

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)											
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細目 No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々たる節)	計画期間の具体的な目標や事柄 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)								
							項目	内容							
6	ごみ・し尿 処理と再 資源化の 推進	1	1	25422	(防犯施設設備)の対策が必要な場所には、行政区などの管理団体に防犯灯を設置するための補助制度の活用を働きかけるなどして、防犯施設の整備を図ります。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	LED照明への建替えも含めて、設置数は順調に増加傾向にあり、管理団体の負担により設置しているため目標設定は困難であるが、修繕等の際にはLED照明の利点を説明し建替えを促進している。							
				26111	ごみ排出量の減少化に資するため、更なるごみ分別の徹底を図ります。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	各家庭に配布するごみ・資源収集カレンダーの記載内容を解りやすく、毎年度見直しを行ったり、玉名市ごみ処理計画のチラシの中で、ごみの量の推移や資源物リサイクルの流れ等を住民に周知している。また分別が出来ていない行政区等にチラシを配布し分別の徹底を図っている。							
				26112	資源ごみの回収に特に有効なコンテナ方式は、モデル地区の拡大に努めます。	6. 未着手	未着手の理由	資源物の価格が下落しており、地区、団体ともに採算が合わない状況となっている。また、モデル地区以外に希望される地区が現在のところない状況である。							
		2	循環型社会システムの構築	1	26211	更なる3R(ごみの抑制:Reduce、再利用:Reuse、再資源化:Recycle)の取組を推進します。	更なる3Rの推進に努める。また、「使用済小型電子機器の再資源化の促進に関する法律」が施行されたことによる回収方法等の検討を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	3Rの推進については、継続して行っている。使用済小型電子機器の再資源化の推進に関する法律施行後の回収方法等については、関係団体等と協議・検討を行っている。					
					26212	(循環型社会システムの構築を図るため、)広報紙や市のホームページなどで啓発を実施します。	ごみの分別や循環型社会システムの構築を図るため、広報紙や市の平成P、啓発チラシ等により啓発を続ける。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	前年度同様、ごみカレンダーの平成P掲載やプラスチック分別のチラシ作成などを行った。					
				3	不法投棄の監視強化	26211	家庭ごみをはじめ産業廃棄物などの不法投棄は、関係機関との連携/パトロールの強化などを図りその撲滅に努めます。	一般廃棄物、産業廃棄物などの不法投棄に対して、県、委託業者等と連携/パトロール強化及び排出者への指導の強化に努める。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	前年度同様、通報やパトロール中に見かけた不法投棄物に対し、排出者の調査や指導、また、不法投棄物の適正な処理を行った。				
						31111	一人ひとりの子どもの発達段階に応じた適切な教育を行います。	一人ひとりの子どもの実態を確実に把握したうえで、個に応じた適切な教育を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	各小中学校とも学校総体で取り組んでおり、小学校と中学校の情報連携も前進したことで、より児童生徒理解が図られ、個に応じた指導が推進できている。				
		3	人をはぐくむまちづくり	1	学校教育の充実	1	就学前教育の充実	1	1	31112	中学校区における幼・保・小・中の連携と交流を更に深めます。	中学校区単位で小中一貫の視点に立った教育活動(小中一貫教育)を展開し、小・中の連携をさらに深め、同時に幼・保との連携、交流も推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	小中一貫教育推進計画に基づき、各中学校区で「目指す子ども像」を定め、「知・徳・体」それぞれに共通実践事項を決めて取り組む体制を整えた。
										31121	読書の重要性を再認識し、想像力を豊かにし、表現力を高めるなど効果的な読書活動を推進します。	全小中学校の学校図書館図書標準達成率75%以上を目指す。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	平成25年度調査(平成24年度末実績)によると達成率75%以上の小学校は、57.1%、中学校は33.3%である。
										31122	就学前から家庭や地域との連携のもと、読み聞かせなど読書に親しむ場を工夫します。	図書室補助員をすべての小中学校に配置し、児童生徒の読書活動を支援する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	図書室補助員は配置しているが、任用は18名であり、9校が兼任の学校である。平成25年度、学校図書室補助員配置事業、小学校・中学校教育図書整備事業を実施。
2	生きる力を身につける教育の推進									31211	学校は、人間形成の基礎づくりの場であることから、「みんなで助け合い、楽しく基礎・基本を学ぶ」ことを前提とし、さらに、個性を伸ばし、生きる力をはぐくむことを目指します。	いじめや不登校、並びに体罰等の発生防止に努め、教師一人一人の授業力アップと児童生徒の学習意欲を高め、基礎基本の定着及び社会性の向上に努める。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	義務教育9年間を見通して中学校区ごとに策定された共通実践事項を見直し、小中の連携を推進している。教育活動に保護者や地域の人材を活用することで、様々な価値観に出会わせ、自ら考える力を高めている。
										31212	社会教育と連携し「地域の子どもは地域で育てる」という考え方に基き、農業体験や職場体験、企業訪問、環境学習、ボランティア活動などを積極的に学習活動に取り入れます。	学社融合の考え方をもち、学校と地域がそれぞれの力を出し合い、将来を担う有為な児童生徒の教育活動を推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	すべての学校で学校応援団の協力を得て、校外での体験学習等を実施している。働く人々の苦労や願いを知り、体験することで自己を見つめ、さらに自己の将来につながるキャリア教育の一助となっている。
2	情報教育、環境教育、国際理解教育など、体験学習や実践を取り入れながら積極的に実施します。									31221	情報教育、環境教育、国際理解教育など、体験学習や実践を取り入れながら積極的に実施します。	すべての小中学校において、情報教育、環境教育、国際理解教育の全体計画及び年間指導計画をそれぞれ作成し、体験学習や実践を取り入れながら、計画的・体系的な教育活動を展開する。	2. 概ね達成	状況の説明	すべての小中学校において、情報教育、環境教育、国際理解教育の全体計画及び年間指導計画の作成がなされた。その計画に基づき、計画的・体系的な教育活動を展開している。
										31222	学校ホームページを通して、学校の教育活動の様子などを保護者や地域住民に伝え、地域に開かれた信頼される学校づくりに努めます。	学校ホームページを定期的に更新し、学校の情報(教育活動の様子など)を常に発信し続ける。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	ホームページは、すべての学校で開設されているが、常時更新している学校と、定期的な更新ができていない学校がある。
3	指導主事派遣事業、学校訪問事業を充実させます。									31231	指導主事派遣事業、学校訪問事業を充実させます。	一人一人の教師の授業力・生徒指導力を高め、組織としての学校力を高めるために、全ての学校への訪問を実施し、さらに要請に基づき必要に応じて指導主事を学校に派遣する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	全27校に対し、教育事務所訪問を含め、市教委による学校訪問を実施し、授業参観等を通して、指導・助言を行うとともに管理職と課題を共有し、支援を行っている。
										31232	多様な指導形態と評価方法の工夫改善や言語活動の充実に努めます。	各学校が児童生徒の実態を把握し、校内研修等において課題を共有し、共通実践に取り組む。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	身につけさせたい力を明確にした上で、指導事項と結び付け、言語活動を設定し、児童生徒が自ら考え、判断し、それを表現する等の授業の展開を工夫している。
4	心身の健康や自然の恩恵、勤労などへの感謝、食文化などについて、教科と学校給食や体験活動を関連させた系統的な指導の充実に努めます。									31241	心身の健康や自然の恩恵、勤労などへの感謝、食文化などについて、教科と学校給食や体験活動を関連させた系統的な指導の充実に努めます。	すべての小中学校において食育全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的・体系的な教育を実施する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	すべての小中学校において食育全体計画及び年間指導計画を作成した。それに基づく計画的・体系的な教育を実施している。

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)					
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
				31242	食に関する知識や実践的な態度を身につけさせ、望ましい食習慣の形成に努めます。	すべての小中学校において食育全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的・系統的な教育を実施する。	2. 概ね達成	状況の説明	すべての小中学校において食育全体計画及び年間指導計画を作成した。それに基づく計画的・系統的な教育を実施している。
			5	31251	子どもの体力低下を防止し、子どもの基礎的な体力を身につけるため、体力・運動能力テストを実施します。	体力・運動能力テストを実施し、成果と課題を明確にして学校体育の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	体力・運動能力テストを実施した。レーダーチャート等を活用し、成果と課題を明確にして学校体育の充実を図っている。
				31252	子どもの体力低下を防止し、子どもの基礎的な体力を身につけるため、学校体育の充実を図ります。(※体力・運動能力テストを実施を除く。)	すべての学校において学校体育指導全体計画及び年間指導計画を作成し、学校体育の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	すべての学校において学校体育指導全体計画及び年間指導計画を作成した。それに基づき学校体育の充実を図っている。
			6	31261	玉名市教育委員会指定研究推進校補助事業を引き続き推進します。	毎年新規に2校の推進校を指定し、全校一体となって学力向上等に取り組み、2年目に成果の検証のための発表会を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	2年目の指定校2校が研究発表会を実施し、補助金を活用し、教材等の購入や資料の作成を通して、授業力の向上に役立っている。(※細事業名：小中学校特色ある学校づくり事業)
				31262	全国学力・学習状況調査を市立全小・中学校で今後実施し授業改善に取り組みにより、児童や生徒の学力向上に努めます。	教育活動の成果検証のための一指標とし、問題内容や問いなどを授業に活かし、基礎基本を活用する力を高め、結果をもとに課題を洗い出し授業の改善及び学習内容の定着を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	各学校とも、調査実施、結果分析、指導改善等のPDCAサイクルに沿った取組がなされ、学力向上に向けた共通実践を進められている。
			7	31271	家庭教育は、玉名市家庭教育憲章の理念に基づき、社会教育と連携を図り意識啓発に努めます。	各学校が、教育活動にかかる情報を保護者や地域に発信し、児童生徒の課題の共有を図り、教育の第一義的責任を有する家庭の意識を高め、協働して健全育成に努める。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	授業参観や懇談会や校外での講演会等への参加が、家庭によって偏りがあり、すべての家庭で課題を共有するには至っておらず、達成が難しい状況である。
			8	31281	不登校の未然防止や解消、いじめや問題行動の早期発見・早期対応に向けて、学校と家庭や関係機関が連携をとり、細心に配慮しながら実施します。	不登校の未然防止や解消、いじめや問題行動の早期発見・早期対応に向け、学校の教育相談活動の機能強化を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	玉名市教育相談員を教育総務課内に1名配置し、また、適応指導教室指導員を各中学校に1名配置しているが、相談業務が増加し、学校の要望に十分に答えられていない。(※細事業名：適応指導教室指導員活用事業、教育相談業務)
			9	31291	一貫性を持たせた体系的な教育方式である小中一貫教育の創設も視野に入れた小・中学校教育のあり方について検討を開始します。	平成25年3月14日に小中一貫教育推進計画を策定し、平成26年4月から市内全小中学校において小中一貫教育をスタートするため、中学校ごとに小中一貫教育に向けての体制づくり着手する。平成28年度末までには、小中一貫教育体制を構築し、エンジョイ・イングリッシュと玉名学を市内全小中学校にて実施する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	6中学校において、共通の「目指す児童生徒像」を定め、その具現化のための「共通実践事項」を知・徳・体のそれぞれを決め、達成目標を定めて、中学校単位で同じ方向に向かって学習指導や生徒指導を行う予定である。また、平成26年度から研究指定校において、特色ある教育課程として「玉名学」や「エンジョイ・イングリッシュ」を導入する準備を進めている。
		3 学校・家庭・地域の連携	1	31311	教職員自身が地域のよさを再発見し、課題解決的な学習を通して教科や道徳、総合的な学習の時間などに生かしていけるよう努めます。	玉名の歴史や産業、礼儀、作法等について学ぶ『玉名学』のテキストを作成し、市内全部の小中学校へ導入していくことで、生まれ育った玉名への誇りをもつ子どもたちを育てる。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	『玉名学』のテキストを「探究」「礼説」「日本語」の三冊に分けて試作した。平成26年度は研究指定校を指定して試行し、カリキュラム及びテキストの妥当性等について検証する。
			2	31321	伝統芸能・文化の継承は、文化振興や社会教育と連携し、教育課程外などの時間を活用し、ふるさとの祭りなどを地域素材として教材化し、社会科学習などに活用します。	社会科学での学習のみならず、『玉名学』においても地域素材をいかした学習を取り入れることで、地域に対する児童生徒の興味・関心を高める。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	施策No.31311に同じ
			3	31331	米作りなどの体験学習や他学級との交流学習、地域のひととの交流などを積極的に実施します。	各学校で創意工夫しながら、さまざまな体験活動等を取り入れることで、児童生徒の社会参加や自立を促す	2. 概ね達成	状況の説明	各学校が創意工夫しながら、さまざまな体験活動等を実施しており、児童生徒の社会参加や自立を促している。
			4	31341	学校支援ボランティアの活用や学校評議員、学校運営協議会委員などによる学校関係者評価を進めます。	学校の教育活動に外部の人材を導入したり、学校の自己評価だけでなく外部からの評価を受け、得られた課題を必要に応じて学校経営方針等の改善事項に組み込み、教育活動の充実・向上を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	前年度の評価結果を受け、新年度の学校経営方針に取り入れ、年度途中或いは年度末に、自己評価とともに学校関係者評価を実施している。年度末には、各学校から市教委へ、学校評価全体の分析結果と、それをもとにした今後の改善策を立案したものが提出されている。
			5	31351	通学路の安全点検や防犯パトロールなど、地域が一体となり交通安全・防犯体制を強化します。	すべての学校で通学路の安全点検を行うとともに、地域ボランティアによる防犯パトロールの組織づくりを推進する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	平成25年度は、各小中学校で通学路の点検を実施し、危険箇所の改善を図った。
				31352	校内に防犯カメラを設置します。	小学校21校及び中学校6校防犯カメラを設置する。(※中学校は必要に応じる。)	3. 進行中 (後半)	状況の説明	小学校21校及び玉名中学校に設置が完了している。残り5中学校には未設置のため、今後必要に応じて設置を図る。
			6	31361	「あいさつ運動」などによる地域との関わりを通じて、心豊かでたくましい子どもたちを育てる学校教育を推進します。	すべての学校において児童会・生徒会を主体としたあいさつ運動を行う。	1. 達成 (完了)	状況の説明	すべての学校において児童会・生徒会を主体としたあいさつ運動を行っている。
		4 人権教育の充実	1	31411	一人ひとりがお互いを尊重し、命の大切さを実感できる、「命の教育」を推進します。	すべての小中学校において道徳教育全体計画及び年間指導計画を作成し、豊かな体験活動との関連を図ることで「命の教育」を推進する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	すべての小中学校において道徳教育全体計画及び年間指導計画を作成した。それに基づき、豊かな体験活動との関連を図ることで「命の教育」を推進している。

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)					
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
			2	31421	同和問題を人権問題の中心に据えながら、あらゆる人権問題解決のために、人権教育の一層の推進を図ります。	すべての小中学校において、人権教育の全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的・系統的な教育活動を展開する。	2. 概ね達成	状況の説明	すべての小中学校において、人権教育の全体計画及び年間指導計画の作成がなされ、計画的・系統的な教育活動が展開されている。
		5 教育環境の整備	1	31511	老朽化した校舎などの(学校施設は、)改修や改築について年次計画に基づき整備を図ります。	老朽化した校舎などの学校施設の改修や改築を年次計画に基づき整備する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	建築時期が昭和40～50年代に集中して建築され、建築後40年後半～35年以上経過している老朽化した校舎が大半を占め、改築を含めた改修計画が必要で、莫大な予算が必要となっている。学校再編の事業計画と平行しながら新たな改修計画を行い、年次計画をもって整備を図っていく。
			2	31521	小・中学校の校舎などは耐震診断に基づき計画的に耐震補強工事を実施し、平成25年度までに耐震化を図ります。	すでに着手済み(平成24末の耐震化率は98.9%)平成25年度末完了を計画していたが、玉中武道場が未調査であったため、急遽平成24年度に耐震診断を実施、結果耐震補強困難となり、平成25実施設計、平成26改築を行う。	1. 達成(完了)	状況の説明	玉中武道場の耐震診断を実施した結果、耐震補強が困難となったことにより武道場の解体工事を行った。平成25年度末までに耐震化率は100%となった。
			3	31531	小・中学校の適正な規模や配置の基本的な考え方などについて検討する審議会を設置します。	平成23年度中に6回の玉名市学校規模適正化審議会を開催し、平成23.12.11に玉名市学校規模適正化建議を受け、平成24.3.14に玉名市学校規模・配置適正化基本計画(素案)を決定する。望まれる学校規模基準小学校「2学級～3学級」、中学校「3学級以上」を決定する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成24年6月から玉名市学校規模・配置適正化基本計画説明会や意見交換会、パブリックコメント等を実施し、10月に玉名市学校規模・配置適正化基本計画を策定する。その後、最初に実施する玉陵中学校区の6小学校区にて実施計画説明会を行い、周知を図る。
				31532	(小・中学校の適正な規模や配置の基本的な考え方などについて検討する審議会)で検討された建議を受け、学校規模や学校配置についての基本方針を策定し、その計画を推進します。	全市内6中学校において基本計画(素案)説明会を実施し、同時にパブリックコメントを実施する。天水中校区3小学校区において、基本計画(素案)意見交換会を実施し、平成24.10.11に玉名市学校規模・配置適正化基本計画を決定する。最初に取り組む玉陵中学校区において、実施計画説明会を実施し、平成25.2.18に新しい学校づくり委員会(部会)を発足させ、計画を推進している。平成28年度末までには、玉陵中学校区を完了させ、平成27年度からは天水中校区を検討に入り、学校再編を軌道に乗せる。	4. 進行中(前半)	状況の説明	最初に取り組む玉陵中学校区において、「新しい学校づくり委員会」を組織し、学校再編に必要な諸事項を協議・調整し決定して行きながら、6小学校区を1小学校区にする学校再編を推進し、1学年 2～3学級の学校規模基準にしていきたいと思います。しかし、9月議会と3月議会に学校再編関連予算を計上するものの、「校区の意見では、小学校の合併に否定的な意見も多数あり、住民の理解と合意が十分とは決して言えない状況である」との理由から、削除(否決)された。このような状況から、平成26年度には保護者・未就学児保護者説明会や保護者アンケートを実施し、より一層の住民理解に努めています。
2 社会教育の充実	1 生涯学習の推進	1 生涯学習の推進	1	32111	4公民館(玉名市中央・岱明町・横島町・天水町)は、連携を図り、地域の実情に合わせた各種公民館講座事業を拡充します。	市民を対象に生涯を楽しむ、充実させるため地域の実情にあった学習を提供し、生活の質の向上に役立てるとともに地域社会への参加を促進し連携意識の強化を図る。また、地域のニーズに応じた講座内容により各公民館で継続的に実施する。	1. 達成(完了)	状況の説明	中央25、岱明10、横島4、天水5講座、計44講座を開催した。また、その成果を「生涯学習フェスティバル」で発表した。市民のニーズに応えるため、夜間講座や土日開催の講座を設定した。今後も市民の方々のニーズに合った講座の開催を検討していく。
				32112	4公民館(玉名市中央・岱明町・横島町・天水町)は、誰もが参加できる自主活動の支援に努め、生涯学習機会の充実を図ります。	市民の自主的な生涯学習活動の支援や自主団体の育成を図り、自ら実践する心と活動を育む生涯学習を推進する。また、各年齢層・性別に応じた工夫のある内容で講座・研修会などを継続して実施する。	1. 達成(完了)	状況の説明	高齢者向けに健康と介護・防犯・人権・郷土史などの研修会を実施している。また、自主で活動している団体に支援しながら学習機会を提供し、成果発表の場を協賛して実施している。
			2	32121	公民館職員の研修体制を強化し、地域に根ざした公民館活動を振興します。	地域住民が相互協力により、文化・スポーツ活動や世代間の交流を図れるよう、また、生涯学習の場として公民館が安心して利用できるよう継続的な振興を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明	九州公民館大会及び熊本県公民館大会に参加し、先進地事例などを参考に公民館事業を推進する。
			3	32131	各支館活動の充実が不可欠であることから、それぞれの支館が個性や独創性を生かした計画づくりを実施します。	地域社会の親睦と融和を図り、相互理解と地域連帯感を高め、コミュニケーションを深めることを最大の目的であり、継続的なサポートする	1. 達成(完了)	状況の説明	支館長研修において、九州看護福祉大学より講師を招き、校区における高齢化の現状と健康課題について学習し、今後の支館事業計画案づくりに生かしてもらった。
			4	32141	まちづくり団体も地域の実情に応じた個性的な活動を展開している団体のネットワークづくりを実施します。	地域の実情に応じた個性的な活動を展開しているまちづくり団体と、長期的、継続的にネットワークづくりを進める。	5. 着手	状況の説明	支館は、地域の実情に応じた活動を実施していることから、支館長研修において、活動を発表する機会を設け、各支館相互の意見交換を行った。
			5	32151	地域づくりが持続的に発展するため、地域の担い手の育成を積極的に推進します。	地域の担い手の育成を積極的に推進するため、多方面に亘る活動機会、情報収集をもとに、人材確保に努める。	5. 着手	状況の説明	地域づくりは人づくりという観点から、公民館講座の講師について地域の人材を採用した。
			6	32161	本市の図書館と図書室は、相互の情報ネットワーク化により利用者の利便性の確保を図ります。	図書館及び図書室の利便性の確保のため、利用者からの要望によるインターネット予約を平成25年9月より開始する。	1. 達成(完了)	状況の説明	利用者からのニーズが多かったインターネット予約を行ったことにより、利用増に繋がっていった。
			7	32171	図書館の蔵書数の充実を努めます。	蔵書内容の見直しを図り、市民のニーズ、各図書館のニーズにあわせた選書を行う。	5. 着手	状況の説明	各図書館の地域性にあつた選書をおこない、特設コーナーの充実を図ることで、貸出増に繋がっていった。
				32172	年齢層に沿った様々なイベントやコンクールなどを地域や学校教育と連携しながら実施し、市民の読書意欲の向上を図ります。	毎年行う読書活動推進行事は年々参加増である。減少した行事は、問題点の割出を図り検討する。	5. 着手	状況の説明	参加の少なかった読書感想文コンクールの募集時期の見直しを図ったことで、中学生の参加増につながった。また、気軽に各年齢層が参加できる行事を新たに行ったことで、利用者の読書意欲の向上につながっていった。
			8	32181	「家族の“なかよし”」「とみだちの“なかよし”」「学校の“なかよし”」「となり近所の“なかよし”」「地域全体の“なかよし”」を積極的に推進します。	イベントの開催を目的とするのではなく、地道に根気強くなかよしの日事業の普及、啓発を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成25年度は、玉名市小中一貫教育推進フォーラムとの共同開催で実施。なかよしの歌の合唱、また、5つのなかよしを紹介する「なかよしの日」プロモーション映像の上映などを通じ、学校と家庭、地域全体の繋がりの重要性について見直し機会となるように開催した。

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)										
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々たる節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)						
								項目	内容					
1				32191	市民の学習意欲が高い講座や研修会などを積極的に実施します。	趣味的講座だけではなく、教養講座を取り入れるとともに、地域に応じた課題をテーマに開講する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	公民館講座において、県と連携し、少子高齢社会に対する対策が喫緊の課題であることから、病気の「予防」という視点から健康について学び、自分の生活に活かすことで、いきいきとした人生を送るための実践力を身に付けるための3回の連続講座を開催した。					
				32192	公民館講座や受講した講座の2年間の成果発表の場となる玉名市生涯学習フェスティバルを引き続き開催します。	公民館講座の1年間の集大成として生涯学習フェスティバルを開催し、公民館講座の普及啓発を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	平成25年度生涯学習フェスティバルには、展示部門12団体、舞台発表部門14団体が参加した。また、記念講演として、熊本出身の落語家三遊亭好太郎氏と三遊亭好吉氏より生涯にわたって学ぶことの素晴らしさについて講演頂いた。参加者も500人集まり、公民館講座の普及啓発ができた。					
				321A1	地域の身近な小・中学校、高等学校、九州看護福祉大学との連携を強化し、環境、高齢者、趣味などに関する多様な学習機会を創造します。	指導する方々との異なる世代間の交流を図り、豊かな人間性や社会性を育む。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	地域の方々や小学校の協力のもと、放課後の時間に小学校の空き教室やスペースを活用して児童の居場所づくりを提供する放課後等の支援活動事業を市内小学校3校で実施した。					
				2	社会教育の推進	1	32211	子どもたちが学校や地域において、ボランティア活動や農業体験など多様な体験活動ができる体制づくりを、学校教育と連携して実施します。	子どもが自ら学び、自ら考え、判断していく「生きる力」をはぐくむことに努める。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	地域の方々や小学校の協力のもと、放課後の時間に小学校の空き教室やスペースを活用して児童の居場所づくりを提供する放課後等の支援活動事業を市内小学校3校で実施した。		
							2	32221	地域の高齢者と子ども達の交流を地域と連携して推進します。	子どもたちが、郷土の歴史や文化に対する理解が深まる体制づくりに努める。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	地域の方々や小学校の協力のもと、放課後の時間に小学校の空き教室やスペースを活用して児童の居場所づくりを提供する放課後等の支援活動事業を市内小学校3校で実施した。	
							3	32231	(社会教育の充実を図るための)人材育成、指導者養成を積極的に実施します。	社会教育の充実を図るため、社会教育団体の活動を通じて、人材育成を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	社会教育団体は、地域の活性化をはじめ青少年の健全育成を図っている。その5団体に補助金を交付を行った。	
				3	2	32232	(社会教育の充実を図るための)各種研修を支援します。	社会教育の充実を図るため、研修の開催を支援し、人材育成に努める。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	各社会教育団体の総会等を活用し、多くの会員が集まった際に研修会を実施した。			
				4		32241	あらゆる分野において、「人々が生存と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」である人権教育を推進します。	様々な人権問題の解決を自らの課題として考えられるような人権教育を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	人権教育に関する学習会や人権教育研究大会の開催、人権週間における啓発活動を行い、あらゆる人権教育を行った。			
				5	3	社会教育施設の充実	32251	『玉名市家庭教育憲章』の理念に基づき、市民一人ひとりが家庭や家族、家庭教育の役割を見つめなおすことの重要性について、積極的に意識啓発を実施します。	市民それぞれが、玉名市家庭教育憲章を再度見つけ直し家庭の教育力向上の意識啓発に努める。	8. 評価不能	評価不能の理由	計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが難しい。		
				6			32261	(社会教育の推進のため、)PTAや学校、地域、行政が一体となった連絡・調整機能を果たす場の形成を図ります。	社会教育団体等と連携を図り、さまざまな機会を活用しながら地域教育力の向上を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	学校教職員の勤務負担を軽減し、児童生徒とゆとりある時間を確保するため、地域全体で児童生徒の教育力の向上を図った学校支援地域本部事業を実施した。		
				7			32262	家庭における親子のきずなの形成や、基本的な生活習慣の習得など、地域や家庭の教育環境の向上を目指します。	市民それぞれが玉名市家庭教育憲章を再度見つけ直し、家庭の教育力向上を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	地域の方々や小学校の協力のもと、放課後の時間に小学校の空き教室やスペースを活用して児童の居場所づくりを提供する放課後等の支援活動事業及び学校教職員の勤務負担を軽減し、児童生徒とゆとりある時間を確保するため、地域全体で児童生徒の教育力の向上を図った学校支援地域本部事業を実施した。		
				3	社会体育の充実	1	生涯スポーツの推進	33111	身近な地域でスポーツに親しむことのできるように、市民を対象とした総合型地域スポーツクラブの育成を図ります。	地域の実態に応じた総合型地域スポーツクラブの育成及び設立の検討を行う。	8. 評価不能	評価不能の理由	既存の総合型クラブは、自主運営を行っているが、新たなクラブ設立については、地域スポーツの環境に大きく左右され、計画達成のための具体的目標を定めることが困難であるため。	
								2	33121	市民スポーツを通して市民の交流を図り、健康づくり、体力づくりへの意識の向上を図ります。	ビーチボール大会やグラウンドゴルフ大会など概ね10大会の市民スポーツ大会を継続して実施する。	8. 評価不能	評価不能の理由	毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため。
								3	33122	競技スポーツを通して競技力の向上と底辺拡大を図ります。 (※上記の施策No.33121に同じだったので、上記とともに修正しました。)	全国大会出場者等の激励及び競技スポーツ大会への補助により競技力の向上を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由	毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため。

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)					
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策№	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
			3	33131	体力や年齢を問わず、気軽に取り組めるグラウンドゴルフ、ベタンクなどのスポーツを普及します。	生涯スポーツとして誰でも楽しめるスポーツとして普及推進を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由	グラウンドゴルフ、ベタンクともに協会を設立し、体育協会に加盟するなど普及が図られているが、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため。
			4	33141	学校教育や介護予防など組織間の連携強化を図り、子どもの体力づくり、高齢者の健康づくりの推進に努めます。	学校施設を夜間開放し、地域住民のスポーツ環境を提供。また、トレーニング室での各運動教室の充実を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由	学校施設やトレーニング室の利用者も多く、健康づくりの一助となっているが、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため。
			5	33151	「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる」生涯スポーツの充実を図るため、各種スポーツ教室を開催し、競技力の向上を図ります。	スポレクフェアやベタンク大会、市民体育祭でのニュースポーツ競技などの推進を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由	ニュースポーツ競技など浸透しており、競技力も向上しているが、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため。
	2 社会体育指導者の育成		1	33211	各スポーツ団体などに研修会や講習会への参加を積極的に促し、社会体育指導者の育成を図ります。	スポーツ推進委員等を研修会に参加させ生涯スポーツの指導者の育成、また市体育協会へ補助金を交付し競技スポーツの審判、指導者の育成を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由	スポーツ推進委員の能力や競技団体の指導者等の能力向上は図られているものの、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため。
	3 社会体育施設の充実		1	33311	健康増進や余暇活動としてのスポーツレクリエーションの拠点として、体育施設の体育施設の整備を推進します。	快適なスポーツレクリエーション施設としての機能維持を図り、安心・安全・公平な施設利用や施設整備を行う。	8. 評価不能	評価不能の理由	既存施設の有効活用や適正な維持管理などを行っているが、利用者や施設維持の関係上において、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため。
			2	33321	新たなスポーツ活動、健康づくりの拠点としての施設整備などを検討します。	横島体育館の建替えを行う。	5. 着手	状況の説明	公共施設適正配置計画を踏まえた建設方針の検討を行い、地域協議会への諮問や関連施設の利用団体との意見交換の実施。
	4 文化・芸術の振興	1 歴史・文化施設の充実	1	34111	博物館は、市民の文化的創造と享受に資するため、企画展などの充実を図ります。	企画展に関連した催物や体験学習を実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成25年度は、植田いつ子の世界展、古墳は語る外2件の企画展を実施した。
				34112	(博物館は、)子ども達が郷土の歴史や文化に触れるよりよい機会や体験学習の場となるよう、その活用を積極的に推進します。	体験及び随時受けの体験学習、催物(コンサート等)を年間スケジュールに従い実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成25年度は、年間21本(26回)の体験学習、催物28回(うちコンサート8回)を実施し、館の活用を行った。
			2	34121	(市内に数多く残っている国指定史跡をはじめとする文化財の)保存整備活用計画を作成します。	計画期間中(平成25～平成26年度)において、文化振興基本計画の中に文化財の保存整備及び活用における計画を策定する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	市民アンケート調査や行政ヒアリング、文化資源調査を実施。その成果をもとに策定委員会を3回開催し、策定に向けての作業を行った。
				34122	観光振興のため(貴重な文化財の)有効活用を目指します。	国・県指定をはじめ、貴重な文化財の保存と活用のための整備を進めるとともに、大坊古墳、永安寺東・西古墳等については一般公開を行うなど活用を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	県内装飾古墳一斉公開にあわせて、国指定大坊古墳、永安寺東古墳・西古墳の一般公開を10/26・27及び3/21に実施し、市内はもとより県内外から多数の見学者が訪れた。
			3	34131	市民会館(ホール)は、市民の集いなどや芸術文化活動の拠点施設としてふさわしいホールを整備します。するとともに、市内の文化活動の活性化に努めます。	今後、平成26年度中に建設位置をあらためて決定するとともに、スケジュールを再構築し、遅くとも合併特別債の適用期限である平成32年度までの整備を目指す。	5. 着手	状況の説明	平成23年9月に策定した玉名市民会館整備基本計画書をもとに、同等の施設規模の先進地を視察し、建設位置の再決定とスケジュールの再構築に向けた準備を行った。
				34132	市内の文化活動の活性化に努めます。	文化協会との共済による市民文化祭を市民会館で実施することにより、文化活動の活性化を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	市民文化祭の市民会館ホール(舞台部門)は、伝統文化芸能、日舞、コーラス、音楽、新日舞、ダンス、市民会館事務所棟は、文芸(俳句、短歌、肥後狂句、川柳)などの発表、展示を行った。
			4	34141	文化協会や各種団体の育成強化に努めます。	文化協会が実施する事業を自立的に実施できるよう事業費補助や人的支援を継続的に実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成25年度は、玉名市文化協会補助金(2,500,000円)を交付した。また、事務局支援のため、適宜、事務運営に必要な助言等を実施した。
	2 文化交流活動の推進		1	34211	市民一人ひとりの自主性と創造性を尊重し、市民の文化意識の向上を図ります。	市民文化祭を実施し、広く市民に参加を促すことにより市民の自主的かつ創造的な活動を支援することにより文化活動の向上を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	市民文化祭の展示部門は勤労者体育センターでおこなわれ、文芸Ⅰ、文芸Ⅱ、美術が毎年11月3日を中心に1週間程度展示される。園芸関係は市民会館事務所等で展示がされる。市民広場では、菊花展が行われた。
				34212	地域の身近な文化に接する機会を提供します。	伝統文化こども教室の開催を支援することにより、機会を提供する。	5. 着手	状況の説明	和装礼法及び華道の2教室が補助事業として採択され、市内小・中学生を対象に開催され、習得された技術の展示会や発表会(年1回)を開催された。
				34213	郷土の歴史や文化、芸能、芸術に対する理解と愛着心を育成します。	地域の文化の向上及び発展のため、補助金・激励金の交付を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	全国大会出場激励金(全国大会10,000円、国際大会20,000円)、玉名市文化協会補助金、大野下奴踊り保存会補助金、横島湯掛い節保存会、岱岡太鼓振興会補助金を交付し、適宜、事務運営に必要な助言を実施した。
			2	34221	地域文化の振興を図ります。	市民文化祭等で次世代を担う子供達に地域文化の継承を行う。	5. 着手	状況の説明	市民文化祭の舞台部門においては、一部を子供だけの発表に取り組み、子ども神楽保存会に補助金交付など支援も行った。

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)									
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細目 No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細目・細目)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)						
							項目	内容					
				34222	芸術文化団体や市民とともに協働して市民文化祭の充実に努めます。	市民文化祭の開催により芸術文化団体の後継者育成を充実させる。	5. 着手	状況の説明 市民文化祭の勤労者体育センターで毎年行われる展示部門の作品募集、市民文化祭の観覧者への周知等は広報誌及び市ホームページ等で啓発を行っている。					
				34311	郷土の歴史と文化について幅広い見識を持ち、文化財の保護と活用の中核となる人材を育成します。	地域において活動する歴史、文化活動グループ等と連携しその人材育成に努める。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 玉名市文化協会の文化財視察、菊池川古代文化研究会の活動支援を行なった。					
				34321	伝統芸能は、保存団体とともに積極的な後継者育成を図ります。	次世代を担う子どもたちへの啓発事業に対して、玉名市神楽連絡協議会等と連携を図りながら積極的に支援する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 玉名市神楽連絡協議会、高道地区子ども神楽保存会、九番神楽保存会に補助金交付などを通じて支援を行った。					
				34331	感性を豊かにする知的で創造的な地域の芸術文化活動は、その発掘を推進します。	玉名市アーティストバンクを実施する。(音楽家、作家、画家等の芸術活動を行う人材を集積し登録する)また、芸術体験の機会を提供する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 玉名市のホームページ等に掲載、また文化協会等にも呼びかけし、登録の推進を図っている。現在は3件の登録がある。					
				34332	(地域の芸術文化活動は、)新たな担い手の育成に努め、補助制度などを活用した支援を実施します。	市独自の制度を活用し、芸術体験の機会を提供することにより地域の次の担い手に繋いでいく。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 玉名市アーティストバンクの登録団体を地域の担い手に芸術体験の機会となるよう、玉名市ホームページに掲載している。					
				5	国際交流の推進	1	国際交流活動の推進	1	35111	玉名国際交流協会をはじめとする民間の国際交流団体と協働での活動を実施します。	友好・姉妹都市からの訪問団の受入れの際に玉名国際交流協会とタイアップして歓迎会を開催する。また、友好・姉妹都市への公式訪問の際には、協会より1名以上の参加を依頼する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 平成25年度は、友好・姉妹都市からの来訪や、友好・姉妹都市への訪問はなかった。なお、平成24年度の瓦房店市へ公式訪問の際には国際交流協会から2名(自費参加1名)の参加があった。
				35112	市内在住外国人の生活支援のあり方について検討します。	玉名市在住及び転入された外国人の方々向けに英語標記の生活マニュアルブック(仮称)の作成を検討する。	6. 未着手	未着手の理由 本市独自の生活マニュアルブックの作成は、費用対効果等を総合的に検討し当面は見送ることとした。なお、その代替として、(財)自治体国際化協会が作成し市町村に利用の呼びかけをして「多言語生活情報」の活用を図る。					
				35121	米国クラリダ市と中国瓦房店市との姉妹・友好都市交流は、引き続き定期的な相互訪問を実施します。	姉妹・友好都市と引き続き定期的に相互訪問を実施する。具体的には、平成24年度に瓦房店市に公式訪問、平成26年度にクラリダ市に公式訪問、平成27年度に瓦房店市、クラリダ市から公式来訪を予定。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 平成25年度は、姉妹・友好都市との交流(訪問等)はなかった。なお、平成24年度は、中国瓦房店市へ市長を団長に総勢18名で公式訪問した。					
				35122	(米国クラリダ市と中国瓦房店市との姉妹・友好都市交流は、)教育、産業、文化、医療などの分野においての地域資源を生かした交流を推進します。	クラリダ市への公式訪問時には教育交流の一環として市内の中学生を公費により同行させ、若年者の国際感覚と国際的視野の醸成を図る。また、本市の地域資源を生かした姉妹・友好都市との交流は、国際交流奨励補助金を支給し推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 平成25年度は、姉妹・友好都市との交流(訪問等)はなかった。なお、平成24年度は、玉名女子高等学校吹奏楽部のクラリダ市訪問に国際交流奨励補助金を支給した。					
				2	国際感覚豊かな人材の育成	1	35211	外国語指導助手(ALT)を配置するための外国青年招致事業などを積極的に展開します。	JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)によりALT(外国語指導助手)を招致し、小・中学生の語学力とコミュニケーション能力の向上を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 熊本県及び自治体国際化協会を通して、現在6名体制で小・中学校での英語教育を実施している。細事業名は、外国語指導事業。平成25年度決算は29,283千円。		
	35212	国際理解を深めることを手助けするボランティアの活用と育成に努めます。	国際理解を深めることを手助けするボランティアを募り、人材バンクという形で登録をし、学校教育の諸活動の中で活用する	6. 未着手	未着手の理由 具体的な計画が策定できていない。活用内容について検討、整理していく必要がある。								
	35221	海外での国際交流や外国人のホームステイを受け入れる市民に対し、活動経費の一部を国際交流奨励補助金により支援します。	市民が外国人のホームステイを受入れる際や、海外へ国際交流を目的として訪問する際は、その活動経費の一部を国際交流奨励補助金により支援する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 平成25年度の国際交流奨励補助金の交付実績は、補助件数21件、補助人数48人(ホームステイ受入れ:18人、海外研修:30人)、補助総額618,000円であった。								
	6	「音楽の都 玉名」づくり	3	「音楽の都 玉名」づくりの推進	1	36311	「音楽の都 玉名」にふさわしいイベントを積極的に支援します。	「音楽の都 玉名」づくりプロジェクトチームで政策推進ビジョンを作成する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 政策推進ビジョンの作成も完了し、玉名市全体で行うことで各部署のビジョン(市民課のクリエイティブ)に沿って事業を行った。			
	36312	音楽をとらえて、感性豊かな人間形成とまちづくり、芸術文化レベルの向上を目指します。	将来の担い手である、小中学生等にアウトリーチ事業を行う。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 市内小学校18校の生徒と保育所2園の園児に生のアーティストの音楽を提供し、その楽器に触れる事で、興味を持ってもらい「音楽の都 玉名づくり」の担い手の育成を図った。								
	36321	「グレン・ミラー音楽祭in玉名」を実施する団体の活動を引き続き支援します。	「グレン・ミラー音楽祭」を実施する団体への補助を今後も継続する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 平成25年6月のグレン・ミラー実行委員会の解散を受け、同年7月に結成されたグレン・ミラーを愛する会が平成26年2月に実施した「グレン・ミラー音楽祭in玉名 ～20周年迎えて～」に補助金150万円を支出し支援した。								
	4	活力とにぎわいのある産業のまちづくり	1	農林業の振興	1	6次産業化の推進	1	41111	本市で生産する農林水産物を活かして生産から加工、販売までを実施する事業者を支援します。	平成28年度までに、本市の農林水産物を活用し、6次産業推奨品を20品目にするを目標とする。 ※6次産業推進事業補助金(平成23～平成28)	1. 達成 (完了)	状況の説明 平成25年度までに58商品が開発された。玉名市全体の6次産業を推進させるために、新たに6次産業推奨品制度を創設。加工品コンクール受賞品などを中心に推奨し、現在13品目登録。さらなる販路拡大、周知活動を行っている。	
	41112	6次産業推進交流会を開催するなどして6次産業への参入のための環境整備を図ります。	玉名市内における1次産品を活用し、新たな地域産業を育成するため、各分野の交流及び情報交換などを目的に年4回開催する。	2. 概ね達成	状況の説明 年4回ほど6次産業推進交流会を開催しているが、メンバーの固定化などによって、会に広がりがない状態。中身の見直しによって、6次産業推進の環境整備を活性化させる予定である。								

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)					
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)		
							項目	内容	
	2 農産物の振興	1	41211	JAや生産者代表などの関係者、市ブランド関係部署などと連携・協力し、更なる「玉名ブランド」の確立に向けて、消費者ニーズに対応した品種選定や高品質化技術の普及による生産を推進します。	玉名市の認知度を向上させる目的で開催されている「玉名市認知度向上キャンペーン」に、6次産業者が自ら参加(出展)し、販売会(市場調査・テストマーケティング)の場を提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	福岡市を中心にテストマーケティングの場を提供している。今後は、玉名市民向けの認知度を向上させるための方策が必要と考えられる。	
			41212	大消費地などでのトップセールスや玉名フェアなどを開催して、農産物の消費拡大や知名度向上、「玉名ブランド」化に努めます。	6次産業推進の成果発表の場として、「6次産品フェア」を開催し、本市の6次産業者及び6次産品の周知PRを目的に開催する。	2. 概ね達成	状況の説明	東京、大阪、福岡、熊本などで6次産品フェアを開催。販路拡大とともに周知PRを目的に開催する。	
			41221	県が進めている「くまもとグリーン農業」へこれまで以上に農家や団体などの参加を促し、化学肥料や農薬の低減と堆肥などの有機質の活用による環境にやさしい農業を推進します。	くまもとグリーン農業参加者のみが使用できる表示マーク(くまもんマーク)を使い、農家及び消費者に対し、くまもとグリーン農業自体の周知を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	熊本県と連携し、情報提供及び補助説明に努めている。合計認定件数1,066件、うち25年度認定件数53件	
			41222	多様な機会を通じて農産物の産地地消の普及に努めます。	認定農業者を中心にイベントに参加し農産物の販売、PRを行い産地地消を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	実施主体は玉名市産業祭実行委員会(市、JA、漁協、商工会、観光協会等で構成)。市から実行委員会に補助金80万円を交付。本市の基幹産業である農水産業、商工観光業等を市内外に周知し、産業の発展を推進することを目的として、平成26年3月22日(土)、玉名市民会館駐車場で実施。品評会作物展示、あさりつかみ取り、いちご・ミニトマト収穫体験、ステージイベント等を開催した。	
			41231	県、周辺市町、関係機関、被害地域と連携・協力しながら実効性のある(有害鳥獣による)被害対策を推進します。	平成23年度の農作物被害総額である15,510千円から平成28年度末までに被害額を50%減である7,755千円以下とすることを目標として、玉名地域鳥獣被害防止対策広域連絡協議会を中心とした広域的かつ多様な事業を実施する。	2. 概ね達成	状況の説明	県、周辺市町、関係機関、被害地域と一体となった被害対策を実施してきた結果、平成25年度の農作物被害総額は1,275千円と目標である7,755千円を大きく下回ることができた。しかし、被害地域の拡大があるため更なる被害対策を推進していく。	
			41232	防護施設整備など(有害鳥獣による)被害軽減のための取組を図ります。	平成23年度の農作物被害総額である15,510千円から平成28年度末までに被害額を50%減である7,755千円以下とすることを目標として、国、県及び市の事業により効果的な防護施設整備を実施するとともに、玉名市有害鳥獣捕獲隊に年間を通じた捕獲業務委託をすることにより有害鳥獣の個体数調整を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	国の補助事業である鳥獣被害防止総合対策事業により広域的な防護施設設置を実施したことにより目標である被害額を大きく下回ることができた。しかし、被害地域が拡大しているため今後も事業に取り組み広域的な防護施設整備を推進していく。また、有害鳥獣の個体数調整も併せて実施していく。	
	3 農業基盤整備の推進	1	41311	基盤整備や農業用排水施設整備、農道整備などを推進し魅力ある農地づくりに努めます。	玉名市としては、補助事業を活用し、基盤整備により、区画等の整備を計画的に行い、その後農業用排水施設整備・農道整備を行い、優良な農地づくりに努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	基盤整備については、本年度鳥帽子地区が完了し、現在登記中であります。扇崎大野下地区については、土地改良法手続中であり、資格者からの同意徴集も終了し、施行申請を行う準備中です。農業用排水施設整備、農道整備については、団体営業集落基盤整備事業で採択を受け、測量設計業務委託を実施しました。	
			41312	耕作放棄地の解消を進め、効率的かつ安定的な農業生産を目指します。	平成20年度から平成25年度の間、耕作放棄地の解消を促すため解消費用の一部を助成し耕作放棄地の解消を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成20年度より実施された国・県の耕作放棄地解消事業の実績は、5年間で4320ha解消が図られている。再度平成26年度より5年間、国・県耕作放棄地解消事業が実施される。今後も解消費用の一部を助成し解消の推進を図る。	
			41313	恒常的な浸水が毎年見受けられる地区は積極的な排水対策の実施に努めます。	玉名市に23排水機場がある。供用開始からすでに25年以上の機場が16箇所あり、平成25年度から年1機場の更新採択に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成25年度で排水機場1基更新し、他機場においても県営事業で事業採択を目指し、整備計画を行っている。	
		2	41321	海岸保全施設の整備を推進します。	玉名市の海岸保全施設の整備として、玉名横島地区は、国営事業で、岱明・天水地区は、県営事業で継続的に整備を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	玉名市の海岸保全施設の整備として、国・県事業で継続的に整備を行っている。	
			4	41411	畜産農家への衛生管理の指導に努め、家畜伝染病の発生を防止を図ります。	平成26年度までの間、農業者の家畜防疫に要する経費の一部を補助し、発生時の被害が甚大な家畜伝染病を未然に防止する。	8. 評価不能	評価不能の理由	経費の一部補助は予算の範囲内で行う経常業務である。その他家畜伝染病の未然防止に努めているが、その発生は予測不可能であるため具体的な数値的目標の設定が困難である。
				41412	消費者の信頼を得る安心安全な畜産物生産の推進に努めます。	県、農協などと共同で飼料、器具、繁殖、ふん尿処理など品質と生産の向上に繋がる情報提供発信を行う。	8. 評価不能	評価不能の理由	概要が抽象的であり、数値的目標の設定が困難である。
5 農業経営者の育成と受皿づくり	1	41511	農業に関する情報発信の積極的な実施により、農業経営に意欲を持つUターンやIターンなど転入者の新規就農を促進します。	県、農協などと連携を密に取りながら農業に関する情報発信を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成25年度実績として、Uターン就農者21名、新規参入者5名、新規学卒就農者が8名、計34名が新規に就農された。平成24年度より実施されている青年就農給付金事業の実績は、33名の新規就農者へ交付されている。今後も県、農協等と情報交換しながら促進を図る。		
		41512	多様な担い手の参入なども視野に入れ、地域との協働のもとに農業の受け皿づくりに努めます。	新規事業の実施により新規就農の増加を図る。また県、農協、地元農業委員の協力を得ながら、空き農地や国、県の補助事業の情報提供を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	上記のとおり、新規事業等により新規就農者が増加している。また、就農者への土地の利用権設定等、農協や農業委員と連携しながら進めている		
		41513	農業関係機関と連携し、認定農業者や農業後継者の育成を図ります。	担い手育成総合支援協議会(県、農協、農業委員会等)において、年度計画を作成し、認定農業者、農業法人、集落営農組合、新規就農者を支援、育成する。	2. 概ね達成	状況の説明	農業担い手の増加を目標に設定し、研修会等を実施し、概ね目標に達した。		
6 農産物の販路拡大	1	41611	補助事業などの制度を活用し、農産物の直売所を設置するなど農産物の販路拡大に努めます。	国及び県からの情報を収集し、関係団体等への情報提供を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	毎年2月、玉名フェア(大阪)を開催し、イチゴ、ミニトマト等の販売及びPRを行っている。併せてトップセールスを実施している。販路拡大については、JAたまな等と一層の連携を図ることが望ましい。		

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)					
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細目 No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細目・節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)		
							項目	内容	
1	グリーン ツーリス ムの推進	7	1	41711	関連団体との連携による交流プログラムなどの開発を推進し、グリーンツーリズムの取り組み意向を持つ農家などの支援を図ります。	国、県から情報収集を行い、関係団体と連携し情報提供を行う。	8. 評価不能	評価不能の理由 現在、認定農業者会議等で情報提供は随時行なっているが、グリーンツーリズムに取り組み意向のある農家が現れない。	
				41811	1	林道の維持・保全や利活用を図ります。	林道としての機能を失った路線の廃止も含め、管理林道の再編を行う。林道の維持管理は業務委託を行うことにより利用者の安全を確保する。自然公園内にある林道は、公園利用者のための案内標識の整備を行い利便性の向上を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 林道の維持管理については、利用者の安全を確保できている。公園利用者のための案内標識については、関係団体等と設置箇所の検討を行い、随時整備中である。また、林道の再編については、検討中である。
					2	不正な山林開発行為の防止を図ります。	森林の土地の所有者となった旨の届出制度、伐採及び伐採後の造林の計画の届出制度及び林地開発許可制度等を円滑に実施し、制度違反者への命令及び処分等を徹底し、不正な山林開発行為の防止を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 県、関係団体等と山林のパトロールを実施し、不正な開発行為防止を図っている。無届の伐採等が確認された場合には、所有者への聞き取り等を実施している。また、各種制度の周知を広報誌等を利用し推進している。
					3	林業を通じた管理が困難な森林や管理放棄された人工林については、針広混交林化や広葉樹林化など、公益的機能の維持・増進を図り、健全な森林づくりに努めます。	玉名市森林整備計画に基づき公益的機能の維持・増進を図るため、国、県、森林組合等で相互に連携を密にし、森林の主伐、間伐、保育及び伐採跡地への植栽等、適確な森林の更新を実施する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 人工林資源が利用可能な状況になりつつある中、適切な森林整備の推進を図るため、玉名市の実状に応じて森林整備が効果的に実施しうよう森林整備計画を変更した。
				41821	1	県や各漁協と連携して、漁場の管理と資源管理を中長期的な計画を実施し、覆砂、耕うん、種苗の放流、有害物の駆除、堆積物の除去などの漁場環境の保全・整備を図ります。	県、各漁協と連携し、複数の補助事業を活用しながら漁場環境の保全・整備を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 水産基盤整備交付金事業を活用し覆砂、耕種、種苗の放流、有害物の駆除、堆積物の除去を行った。これからも中長期的な展望に経った漁場環境の保全・整備を行って行く必要がある。
					2	漁港などの漁業基地は、『水産基盤整備長期計画』に基づき整備を推進します。	「水産基盤整備長期計画」に基づき、施設の利便性と安全性の向上を目指し、漁港整備を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 滑石漁港整備事業(野積場)にて舗装面積2,387m ² の整備を行った。
					2	水産物の生産性と品質の向上を図り、安全で安心な水産物の提供ができる漁場環境の整備を推進します。	各漁協と連携し、水産物の生産性と品質の向上を図り、安心な水産物の提供ができる漁場環境の整備を推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 各漁協に対して補助金を交付し、漁場整備やアサリ稚貝や稚漁の漁場放流等を行うと共に、県と連携したアサリ生息状況調査や漁協と連携した漁港漁場施設の清掃活動を行った。
				42221	1	稚魚放流事業の取組や魚類の産卵場の維持管理を促進し、河川本来の資源再生産力の復元に努めます。	菊池川漁業協同組合・菊池川流域市町と連携し、河川の資源再生に努める。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 菊池川漁業協同組合・菊池川流域市町で連携し、繁殖保護・人工種苗中間育成・外来魚、カワウ等の駆除・漁場管理対策等を行いながら河川本来の資源再生、生産緑の復元に努めている。
					2	補助事業の活用により(漁業)の生産体制の組織化を図るとともに、生産性の向上が図られるような共同施設の整備を推進します。	県、各漁協と連携し、生産体制の組織化を進め、生産性の向上のため共同施設の整備を推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 水産基盤整備交付金事業により、ノリ養殖業の安定的生産のため、冷凍網保管用冷蔵庫の改修を行った。
					3	漁業者の高齢化対策や担い手の育成と確保のため、協業化を促進し生産体制の合理化を図ります。	県、各漁協と連携し、漁業者の高齢化対策や担い手の育成を進め、協業化し生産体制の合理化を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由 菊池川漁業協同組合・菊池川流域市町で連携し、繁殖保護・人工種苗中間育成・外来魚、カワウ等の駆除・漁場管理対策等を行いながら河川本来の資源再生、生産緑の復元に努めている。
				42321	1	市内6箇所の工場過地のPR活動を更に積極的に実施するなどして優良企業の誘致に努めます。	毎年度1社以上の新規企業の誘致又は既立地企業の増設協定の締結を目指す。	1. 達成 (完了)	状況の説明 平成25年度において、3社の新規誘致、2社の増設協定を締結した。
					2	企業誘致拠点の有利性のある工業団地整備など、経済状況の改善など社会情勢の変化を見守りながら可否を判断します。	誘致しようとする企業が、どのようなインフラ整備を必要としているのか面談の中で情報収集に努める。	1. 達成 (完了)	状況の説明 誘致のために面談している企業の意向に関する情報収集を随時実施しており、工業団地の必要性を再認識する一方で、居抜物件や更地の把握にも努めた。
3	高度な技術を習得するための研修会やセミナーなどの開催を支援します。	先端技術波及促進協議会の市町会員として、研修会やセミナーへ参加することで、企業の技術習得に繋げる。	2. 概ね達成		状況の説明 荒尾・玉名・鹿本地域における企業の活性化と経営能力の向上を目的として、中小企業診断士を招き、経営講習会を実施した。				
3	製造業・工業の振興	1	1	43111	公共職業安定所などと連携し、若者の地元就業や失業者の再就業を支援し、雇用機会の拡大を図ります。	公共職業安定所を訪問し、市内の雇用情勢及び状況等を把握するため、情報交換及び意見交換を行う。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 公共職業安定所と情報交換を行うことにより、市内における雇用情勢を把握し、今後の対策について検討を行った。	
				43112	若者の就業などの相談窓口である地域若者サポートステーションなども連携し、若い働き手の地元就業の機会拡大を図ります。	たまな若者サポートステーションと連携し、長期間にわたり仕事についていない若者の相談や支援プログラムを通しての社会参加を支援する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 玉名若者サポートステーションと連携し取り組み等を玉名市のホームページや広報たまで告知することで、働くことに悩みを抱えている若者に対し、労働意欲の向上や就職の減少につながった。	
			2	43321	企業が求める人材を育成するための研修会やセミナーを実施する団体を支援します。	玉名高等職業訓練校やポリテクセンターと連携し、人材育成に係る業務を支援する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 玉名職業訓練校へ補助金を交付することで、就業者の技能向上の支援につながった。	
				43322	企業が求める人材を育成するための学習機会の創出を図ります。(※研修会やセミナーを実施する団体の支援を除く。)	企業に求められる技能や資格を取得することで、目標を持って就労に取り組むよう指導する。	6. 未着手	状況の説明 就業者の技能を高め、企業が求める人材を育成するため、高度な資格取得の講習会やセミナーの開催を今後検討していく。	

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)							
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)			
								項目	内容		
			3	43331	高齢者のニーズを踏まえた就業支援を実施します。	高齢者の雇用機会を拡大するためのシルバー人材センターへ補助金を支給し、高齢者等就業支援センターでは、技術習得や余暇充実の講座を実施する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	シルバー人材センターへ補助金を支給し、センターの運営安定を図った。高齢者等就業支援センターでは、技術習得や余暇充実の講座を実施した。		
	4 商業の振興	1 商店街・商業者の支援	1	44111	商業者などを対象にした各種研修会の開催(を推進します。)	商業者を対象に国の制度等の情報提供を行い、また、新たな事業を積極的に取り組み、商工業者の意識の向上や活性化を推進する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	国の助成制度については定期的に情報を提供し、併せて地域の商業者を対象とした玉名市商工振興連絡会議を開催することで、意見集約や意識の向上を図った。		
			2	44112	経営支援、創業支援、市街地に点在する空き店舗や空き地の再生、活用など、商業の総合的な改善を推進します。	地域商店街の活性化を図るため、市街地に点在する空き店舗や空き地の状況を把握し、総合的な改善を推進する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	高瀬本町商店会の申請により空き店舗へ飲食店を誘致し、コミュニティカフェとして魅力ある商店街づくりへ取り組んだ。		
			2	44121	商工会議所や商工会など関係団体を支援します。	経済団体の核となる玉名商工会議所、玉名市商工会を財政的に支援し、本市の商工業及び経済の発展に努める。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	玉名商工会議所、玉名市商工会へ補助金を交付することで、市内商工業の発展並びに振興につながった。		
			3	44131	個性的で魅力的な商店街の形成や機能的な市街地空間の創出に努めます。	商店街のそれぞれの個性や特色を情報発信する方策を講じ、魅力的な商店街を形成する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	安心安全な街づくりを推進し、魅力的な商店街を形成するため、高瀬下町商店会において防犯カメラ設置事業に取り組んだ。		
			3	44132	商店街の空き地や空き店舗を有効に活用する方策を引き続き検討し、実施可能なものから適宜、実施します。	地域商工業の活性化に寄与するため、商店街に点在する空き地や空き店舗の有効活用を関係機関と連携し検討する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	中心市街地の商店街が空き地空き店舗を活用し、コミュニティ機能強化のための共同施設の運営や、不足業種や新規業態を誘致することで、地域活性化を図る事業に対し補助金を交付した。		
			2 商業活性化の推進	1 重点施策	1	44211	玉名の恵みを取り入れたイベントを開催します。	イチゴ、みかん等の期間限定の農産物、水産物をイベントの中でPRし、玉名の地域資源を生かした商業の活性化を図る。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	玉名市の物産品、ブランド認定品、6次産品、農産品の販売を通じて、福岡都市圏の消費者に玉名市をPRし、販路拡大・販売促進を図るため、福岡市天神に於いて毎月、物産展を開催した。
					2	44212	新たな顧客づくりのための支援を実施します。(※上記のイベントの開催を除く)	トマト、イチゴ、みかんなどを取り入れた玉名ブランド認定品パンフレットを作成し、新たな顧客確保を図る。	1. 達成 (完了)	状況の説明	玉名ブランド認定品のパンフレットを 4,000部作成し、PRや及び販路拡大に努めた。
		2			44213	温泉や歴史、文化、まちなみなど玉名の地域資源を活かした商業の活性化を図ります。	「高瀬裏川花しょうぶまつり」、「玉名温泉まつり」などのイベントを継続的に取り組み、商業の活性化を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	継続的なイベントへ助成金等による支援を行うことで、地域商業の活性化を図った。	
		3		44221	沿道緑化、街灯整備、ファサードなどの整備を推進します。	商店街が取り組む街灯整備等を積極的に支援し、安心・安全な街づくりを推進する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	安心安全な街づくりを推進するため、高瀬下町商店会において防犯カメラを設置し、来訪者に対し安心安全な商店街を提供した。		
		3		44231	地域のまちづくりと一体となった商店街づくりを推進します。	商店街の活性化に資する地域のまちづくりの一環として開催されている各イベントを支援する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	「玉名納涼花火大会」、「高瀬裏川花しょうぶまつり」等地域のまちづくりの一環として開催されるイベントへ助成した。		
		4		44241	大型商業施設の跡地や市街地に点在する遊休地については、都市政策や街なか居住を推進し市街地機能の充実を目指す。	大型商業施設の跡地は玉名市中心市街地活性化基本計画に沿って活用を図る。また、市街地に点在する遊休地は、今後の居住推進に向けた活用を推進する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	用地取得後多目的広場を整備する基本計画を策定したが、当面は中心市街地の駐車場として暫定的に整備し活用法については現在、検討している。		
				5	44251	食料品などの日常生活必需品の買い物などが容易にできるような、高齢社会にも対応した人にやさしいまちづくりを推進します。	生活必需品等の買物に不便を感じる高齢者が増えてきているため、市内の「買物弱者」における実態を把握するとともに、今後の対応と方向性を検討する。	6. 未着手	未着手の理由	市内における「買物弱者」の実態を把握しておらず、今後の対策についての方向性が決まっていないため。	
				6	44261	にぎわいがあり人の生活に便利な商店街を目指して、店舗の共同化や協業化を支援します。	商店街各店舗の共同化や協業化を図ることにより、便利な商店街づくりを検討する。	6. 未着手	未着手の理由	商店街の共同化や協業化について、具体的な検討が進んでいないため。	
			7	44271	商業地、商店街などで取り組む各種イベント事業や販売促進事業など、がんばる商店街を支援します。	市内商店街において各種イベントを開催することで、地域コミュニティとしての商店街づくりに取組み併せて販売の促進及び活性化に努める。	1. 達成 (完了)	状況の説明	商店街における地域コミュニティを促進するため、市内3商店街へ各種イベント事業を実施する際の事業資金として、助成金を交付した。		
	3 消費者の保護の強化	1	44311	関係団体と連携して市民の消費者トラブルの解消や消費生活における安全確保に当たります。	熊本県消費者施策の推進に関する基本計画(平成25年度～平成29年度)の目標である消費者被害の未然防止・消費者被害防止への適切な対応を推進するためにも、関係団体との連携により消費生活における安全の確保に当たる。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	消費生活問題の早期発見、早期解決を図るためにも市内はもとより関係団体(社会福祉協議会、包括支援センター、相談支援事業所、警察等)とも連携して、迅速かつ適切な対応ができるような組織作りを進めている。平成25年4月には「生活安心ネットワーク委員会」を設置した。			

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)					
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々たる節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)		
							項目	内容	
5	観光の振興	1 広域観光ネットワークの推進	44312	(関係団体と連携して市民の消費者トラブルの解消や消費生活における安全確保のための)普及啓発を推進します。	熊本県消費者施策の推進に関する基本計画(平成25年度～平成29年度)の目標である消費者被害の未然防止・消費者被害防止への適切な対応を推進するために消費者に対して消費者トラブルの解消に向けた普及啓発活動を推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 高齢者や生活弱者を狙った悪質な消費者被害が増えている。そのため高齢者に向けての啓発講座や、小・中学校児童生徒への啓発カレンダーの配布、広報紙への啓発記事の定期的な掲載、啓発シールの全戸配布をおこなった啓発を図った。		
			45111	近隣市町をはじめ菊池川温泉郷など県北全域との連携を図り、魅力ある地域資源を活かした広域観光ルートの開発と商品化を図ります。	菊池川流域自治体と連携強化し、九州、関西等へ県北広域の観光PRを行い誘客を図る。また、島原半島等、歴史・物語や交通インフラ等てつながる横軸に観光連携を拡大する。	2. 概ね達成	状況の説明 菊池川流域自治体と連携し、広島・福岡・大阪において観光PRを実施。また、有明・島原地域と連携した会議を開催し、地域資源調査・ルート案の考案・提言書とガイドマップ等の作成を行った。		
			45121	観光振興基本計画を策定し、観光地間のアクセシビリティの向上や観光資源の整備に努めます。	観光振興計画を策定することで、玉名固有の資源を有効的・効果的に活用する手法を観光関係者と連携を図り確立する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 策定した玉名市観光振興計画に基づき、玉名観光戦略会議が中心となって定期的なワークショップを開催し、観光関係者との連携を図った。		
			2 観光情報の充実	45211	外国語標記も含めてすべての人に分かりやすい誘導サインなどの整備を図ります。	観光地や観光施設などへのスムーズな案内を促すため、多言語表記や、拠点施設におけるサインを整備する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 荒尾・玉名地域サイン計画推進協議会において、新たなサイン整備と計画を検討している。	
				45221	観光ホームページや観光パンフレットの内容の充実を図ります。	観光ホームページや観光パンフレットの内容の充実を図るため、着地型観光パンフレット、観光ターゲット別マップを作成する。	2. 概ね達成	状況の説明 新規のパンフレットとして、玉名の「人」をテーマとした着地型観光パンフレットに結びつけるための冊子「たまなび」との作成と玉名の「種」にこだわったイケてる種マップ「いけめん」を作成した。	
				45222	玉名温泉街をはじめまじった観光地・観光施設、イベント・祭りなど新鮮で幅広い観光客のニーズに対応した情報の提供に努めます。	新鮮で幅広い観光客のニーズに対応した情報を提供するため、着地型観光パンフレット、観光ターゲット別マップを作成する。	2. 概ね達成	状況の説明 年間を通して観光地・観光施設・イベント・祭り等を紹介していた従来のパンフレットから、季節ごとの旬な情報をより的確に提供するため春・夏号と秋・冬号の二種類に分けて作成した。	
			3 特産・物産品の開発と販路拡大	45231	「観光ほっとプラザ『たまら』」を拠点として、玉名をはじめ県北地域の情報発信に努めます。	ターゲット毎のPRプランの設計、ターゲット毎の観光キャンペーン・観光セミナーの開催、福岡県・熊本県のメディアへの情報発信を行う。	2. 概ね達成	状況の説明 補助金、助成金、受託事業を積極的に活用し、熊本県北の近隣市町と連携しながら、ポータルサイト並びにICTを活用した観光情報発信に努めた。	
				45311	玉名ブランド認定品を推奨します。	玉名ブランド認定品29品目を各種観光物産展において紹介、販売し、認知度の向上に努める。ラジオ、テレビ、雑誌の視聴者プレゼントなど、機会あることに提供し、認知度の向上に努める。	2. 概ね達成	状況の説明 広島フーフエスティバル(広島)、渋谷フェスティバル(東京)、関西ふるさとフェア(大阪)、福岡市内などの大都市でのイベント等に参加し、ブランド認定品の周知に努めた。また、各メディアをとおし、視聴者へ玉名ブランドの商品を提供した。	
					45312	新たに地域ブランド推進による地域振興を図ります。	今後の玉名の地域発展のための活動の御旗とするため、ブランドメッセージやロゴ等を市民提案型にて作成する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 企業のマーケティング手法である「ブランディング」を「地域づくり・まちづくり」に応用し、市民投票によるブランドロゴ・ステートメントを作成。また、キャッチフレーズの原案者に対し「ブランドロゴ・ステートメント発表会」の中で感謝状贈呈を行った。
				45321	販路拡大のため、ブランド認定品などを地域イメージと結びつけ県内外のイベント出展や商談会、チラシなどでPR活動を行います。	「玉名と言えば○○。」と言われるように、地域イメージとしての定着を目指し、各種イベントや物産展、商談会などに積極的に参加し、販路拡大に努める。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 東京、関西、福岡方面へで開催される物産展等へ参加し、ブランド認定品の周知に努めた。また、3市(玉名・山鹿・菊池)合同による「玉名・山鹿・菊池フードチャレンジ商談会」へ参加し豊かな食材を生かした商品の売り込みを行った。	
				4 観光資源の魅力創出	45411	健康志向が益々高まる中で薬草などの地域資源を使った観光商品の開発(に努めます。)	温泉、薬草料理等を活用し、九州看護福祉大、小笠山薬草の会、温泉組合等が連携し、美と健康をテーマにした観光商品開発を実施する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 各関係団体と連携し、美と健康をテーマにした観光商品開発の実現に向け協議を行っている。
					45411	玉名版湯治場など九州看護福祉大学などとも連携を図り「玉名へまた来たい。」と思っただけのしくみづくりに努めます。	九州看護福祉大学の鍼灸診療と玉名温泉の各旅館とが連携を図り、健康と癒しをテーマにした体験型観光の推進を図る。	6. 未着手	状況の説明 ※上記とテーマにしていることが同じ内容である。
		45411	観光地や温泉旅館などでの「おもてなし」を通じ観光客のニーズを踏まえた玉名へのリピーター増加を促進します。		観光関連事業者向けに接客やおもてなし力向上の講座を開催する。	2. 概ね達成	状況の説明 ブランド価値・接客・おもてなし向上を目的として、地域ブランド化の取り組みを実践された方や観光おもてなし、情報発信のプロから直接学びながら交流する講座・講演会を開催した。		
		45421	関西以西をターゲットに観光客誘致キャンペーンを展開し、誘客に努めます。		大阪、広島、福岡をターゲットに観光キャンペーンや観光セミナーを開催する。	2. 概ね達成	状況の説明 ターゲット地域である関西以西の大阪・広島・福岡において、チラシ・パンフ等の配布、観光PR、旅行会社等への訪問を行う観光キャンペーンを実施した。		
		45431	多様なメニューの商品化を目指しハード・ソフト両面での受け入れ態勢の整備を図ります。		観光の拠点施設におけるバス駐車場、トイレ、会議スペース等を整備する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 集客力のある主なイベントにおいては、臨時バス駐車場の設置、臨時トイレ等を整備した。		
		45432	歴史、文化、自然、景観、食、スポーツ、環境など、あらゆる観光資源を活かした観光メニューの開発に努めます。		新しい観光素材を探るのではなく、すでにある観光資源をブラッシュアップし組み合わせることにより着地型観光商品開発を拡大させる。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 着地型観光商品開発を拡大させるため、先進地である「久留米まち旅博覧会」を玉名観光戦略会議のメンバーで視察研修した。		
		45433	山間部や海岸部などの地域ごとの特色と産業を活かした体験型メニューも創出し、広域観光ネットワークの充実に努めます。		健康志向の高まりに対応したウォーキングやトレッキング、また、県北唯一の海水浴場等の観光メニューを開発する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 既存のJR九州ウォーキング・草枕ウォーキングを支援するとともに、小笠山トレッキングコースにおいては、マップの整備を行った。また、鍋松原海岸海水浴場においては、体験型として観光パンフレット等での情報発信に努めた。		

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)					
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細目 No.	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細目・節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
			4	45441	各産業・各業種の団体などに対して観光協会への協力や加入を呼びかけ、幅広い視点をもった観光協会の充実を目指します。	観光関係のネットワーク化(観光関係団体との交流・連携、他地域の連携)、また、収益事業の一環として、法人格取得等協会の体制強化を図る。	1. 達成 (完了)	状況の説明	玉名市観光振興計画の主体的推進母体として、市内外の観光関係団体、民間事業所等との連携を強めるとともに「信用ある持続可能な強い組織」を目指し、法人格を取得した。
			5	45451	玉名温泉観光旅館協同組合を中心に、観光協会、商工会議所、商工会、商店街などと一緒に活性化を推進します。	各観光団体において把握している観光素材を更に磨き上げるとともに、テーマを設定して各観光素材を組み合わせることで、新しい着地型観光商品を開発する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	玉名市観光振興計画に基づいた玉名観光戦略会議のメンバーが各観光団体に所属しているため、観光素材の洗い出しを行った。
		5 国際観光 への対応	1	45511	観光協会や温泉旅館などの関係団体と連携し、外国語表記のパンフレット作成や分かりやすい案内板などの整備を推進します。	多言語表記、着地型観光パンフレット、観光ターゲット別マップを作成する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	県内外に設置されている屋外広告塔及び看板等の調査を行い、老朽化対策や再編計画を検討した。また、パンフレットや平成P上での外国語表記については協議を行った。
5	いきいきと暮らせる福祉のまちづくり	1 保健医療体制の充実	1	51111	支援が必要な方には、随時、保健、医療、福祉、教育、地域などの関係機関と連携を取り、健やかに暮らせるよう調整支援していきます。	支援が必要な方に各課や関係機関等と連携強化を図り調整支援に努める。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	母子・成人などで、複合した問題を抱えた相談ケースが増えてきており、随時、事例検討会等を実施し、関係機関と連携して調整支援した。
				51112	保健、医療、福祉、教育、地域などの関係機関と連携のしつこさを充実させていきます。	市民には、その人に必要なサービスを調整支援し、ネットワークづくりとしては、有明地域保健医療福祉推進協議会や玉名市健康づくり推進協議会等の場で相互連携強化を図る。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	個人の相談に応じて、随時関係機関と連携した支援を実施。広域のネットワークとしては、健康づくり推進協議会や、気になるところの支援会議等で相互連携を強化した。
				51113	市全体では、健康づくり推進協議会、食育推進連携会議、有明保健医療福祉連携会議などの活用により、関係機関の相互連携を図り、健康づくりの輪を拡充します。	健康づくり推進協議会、食育推進連携協議会等を通して連携の輪を広げ、市民の健康的な生活を支援する。	5. 着手	状況の説明	健康づくり推進協議会では、保健センターで実施する事業を協議・検討し、食育推進連携会議では、食育推進事業について、協議、連携して取り組んだ。
			2	51121	「心身に障がいを持つ人とともに生きる地域づくり」を目指し、地域活動を推進します。	障害者虐待防止法や熊本県障害のある人もない人もともに生きる熊本づくり条例を踏まえ、差別をなくし人権に尊重した地域をつくる。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	広報を通じて啓発活動をおこなう通知をおこなった。また、障害者団体や障害者関係事業所等と連携に努めた。
			3	51131	関係機関と連携して予防接種率の向上と安全な予防接種の体制づくりに努めます。	予防接種法に基づき関係機関と連携し、また対象者へ周知を図ることにより、適正および安全に予防接種ができる体制を整備する。	2. 概ね達成	状況の説明	①予防接種法改正等により、玉名郡市医師会・委託医療機関を対象に説明会を開催し、過誤防止等の適正な予防接種実施への関係機関への周知を図った②個人別接種予診票からシステム管理し予防接種台帳として管理し、過誤防止に努めた③予防接種対象者に広報・育児学級、育児相談、乳幼児健診・教育委員会の協力にて周知、啓発し接種動員を図った④予防接種実施にあたり、委託医療機関の広域化を図ることによって接種の機会を拡げ対象者の利便性に努めた。
			4	51141	幼児期からのフッ化物洗口による虫歯予防を推進します。	現在、玉名市内幼稚園・保育園26園中10園での実施(38.5%)公立保育所全園未実施の状況のため、全園実施を目指し推進活動を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	玉名郡市歯科医師会により、園医からの保護者説明会等の実施、また子育て支援課と連携し、園長会でフッ化物洗口事業の説明を行い、今年度公立保育所1園で実施を開始。また、乳幼児健診時に歯科衛生士による集団歯科指導及びチラシ配布、フッ化物洗口の周知を図っている。
				51142	壮年期における歯周病検診を実施します。	壮年期における歯周病検診を人間ドック、よい歯の広場、食育フェアにて継続的に行う。	2. 概ね達成	状況の説明	毎年、人間ドックの節目年齢(40.45.50.55.60.65.70)の方に歯周疾患検診を実施。またよい歯の広場(年1回、玉名郡市歯科医師会主催)、食育フェアで無料歯科健診を実施している。
				51143	学校教育においては、児童・生徒の虫歯予防と健康教育を推進するため、食後の歯磨き習慣や必要に応じた虫歯治療を推進します。	すべての学校において健康教育全体計画及び年間指導計画、学校保健全体計画、学校保健年間計画を作成し、発段階階に応じた適切な保健指導を行う。	1. 達成 (完了)	状況の説明	すべての学校において健康教育全体計画及び年間指導計画、学校保健全体計画、学校保健年間計画を作成した。それに基づき、発段階階に応じた適切な保健指導を行っている。 (※細事業名：小中学校健康保険事業)
			5	51151	食生活改善推進員は、随時食や健康に関する研修により技量を高め、地元地区での伝達活動を実施し、市民に食と健康の輪を拡充します。	市民一人ひとりが健全な食生活を実践できるよう、推進員が食を中心とした健康づくりを地域へ普及・推進するためのボランティア活動が、充実するよう支援する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	地域で食生活改善や食育活動ができるよう、推進員を対象に学習会を開催し、支援をしている。
			6	51161	家庭、保育所、幼稚園、学校、生産者、流通、消費者など多様な関係者との連携を深め、市民が食に関する正しい知識を身につけ健康的な食生活が実践できるよう取り組みます。	子どもから大人まで全てのライフステージにおいて、食に関する知識や理解を高めながら食べる力、生きる力を身につけ、実践できるよう、関係機関と連携、協力して食育を推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	「第2次玉名市食育推進計画」に基づき、総合的な食育の推進を図るため、県警機関・団体・市民と連携、協力して、食育啓発事業として「たまな食育フェア」を開催した。
			7	51171	保健センターの機能を充実するため、安心して相談できる場の確保や支援するしつこみと内容を充実するとともに、スタッフの質を向上します。	市民が安心して相談できるように各種事業における場の確保や周知、内容充実、スタッフの質の向上に努める。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	場の確保に関しては、玉名保健センターだけでなく各支所の保健センターや各施設を有効利用し、また家庭訪問を実施した。スタッフの質の向上に関しては、各種研修会の参加や自主学習会等自己研鑽に努めた。
			8	51181	事務事業見直しを適宜行い、住民に直接関わることのできる保健師と栄養士の地区担当制を充実させ、実態に即応した保健活動を実施します。	母子から成人まで必要な対象者に迅速に丁寧に関わりが持てるように、対象者把握に努め対応できるように事務事業の見直しに努める。また、地区診断による地域ニーズにあった保健活動の充実を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	保健師・栄養士とともに地区担当制をとり、母子から成人まで、各事業を通して支援を必要とする方の把握に努め、緊急性を勘案しながら、タイムリーで適切な支援を心がけ、市民が安心して生活できるよう援助した。
			9	51191	気軽に相談できる体制づくりを強化し、相談支援事業所や関係機関などと連携をとり、心身の健康づくりを推進します。	既に着手している。今後も障がいのある人やその家族の悩みや相談に対処し、障害のある方の暮らしを支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	4事業所に委託し有明圏域で相談支援事業を実施している。また、毎月巡回相談を開催し、身近な地域で相談が受けられるよう努めている。今後も相談支援事業所と連携をとりながら進めていく。

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)				
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
							項目	内容
			511A1	総合的に対応する相談体制の構築を既に着手している。今後も啓発活動や相談支援を充実させ、自殺者の減少に取り組む。		4. 進行中 (前半)	状況の説明	県の補助事業を利用して、臨床心理士による相談会を開催した。相談者の日常生活に関わる心配事に対応している。
		2 医療体制の充実	51211	県保健医療計画に基づき、有明保健所、管内救急指定病院、医師会、消防関係などと連携を図り、夜間や休日の救急患者への対応体制の整備に努めます。	市民の健康と安心を確保するため、関係機関と連携し、夜間・休日の救急患者への対応体制をの充実を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	有明地域の救急病院や公立病院の運営及び、玉名郡市医師会等への休日・夜間診療体制整備のための補助を実施した。
			51221	公立玉名中央病院の医師を確保する対策の一助として、医師就学資金貸与制度の設立について関係機関に要望します。	公立玉名中央病院の医師を確保する対策の一助として、医師就学資金貸与制度を設立し医学生を確保できるよう関係機関に依頼する。	1. 達成 (完了)	未着手の理由	平成24年4月から玉名中央病院企業団において、医師として玉名中央病院に勤務し本市の地域医療に貢献しようとする医学生を対象に修学資金の貸付事業を実施中。なお、平成25年度は実績なし。(累計貸付人数0人)
			51231	ターミナルケアの充実のための議論を深めます。	ターミナルケアの充実のため、公立玉名中央病院において議論を深めていただくよう、適宜、要請する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	公立玉名中央病院において、緩和ケア認定看護師を配置した化学療法室の設置や、がん化学療法看護の認定看護師の資格認定者の増員などが計画的に実施され、ターミナルケアの充実が図られている。
			51232	公立玉名中央病院において、がんの治療法として手術や放射線治療と同様に非常に有効な抗がん剤の使用による化学療法の充実を公立玉名中央病院に要望していきます。	公立玉名中央病院において、がんの化学療法の実施を促していただくよう、適宜、要望する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	公立玉名中央病院において、内科医を中心としたがん患者の緩和ケアチームの取組みなどが計画的に実施され、がんの化学療法の充実が図られている。
	2 保健活動の推進	1 保健活動の推進	52111	家庭訪問、健康診査、育児相談、母子保健推進員活動などを実施し、ケースに応じた保健指導・支援により母子保健の向上を推進します。	乳幼児が健やかに発育発達し、保護者が安心して子育てできるように、あらゆる母子保健活動の中で、保護者の育児力形成へつなげる保健指導に努める。特に乳児訪問指導と各乳幼児健診受診率の向上・維持を図る。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	乳児訪問は、保健師・助産師405件、母子保健推進員394件実施。(全戸訪問実施率93.6%) 乳幼児健診受診率は、4か月健診96.6%、8か月健診98.9%、1歳8か月健診96.7%、3歳6か月健診97.3%であった。
			52121	総合計画、食育計画、次世代育成計画、特定健康診査等実施計画を含む『健康玉名21・健康なまちづくり計画』を策定します。	玉名市に住むすべての人が、心身ともに健康で自分らしく暮らせるよう、各ライフステージ毎のヘルスプランと、地域全体の健康度を上げるための地域づくり施策を盛り込んだ計画を策定する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	玉名市に住むすべての人が、心身ともに健康で自分らしく暮らせるよう、各ライフステージ毎のヘルスプランと、地域全体の健康度を上げるための地域づくり施策を盛り込んだ計画を策定した。
			52131	腎機能重症化防止を図り、慢性腎不全による透析導入への進行を阻止し、新規透析導入患者を減少させます。	人工透析導入への進行を阻止するため、慢性腎臓病(CKD)該当者への保健指導実施率の向上を図る。更に、慢性腎臓病予防のための啓発及び関係機関との連携を推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	平成25年度末現在で、慢性腎臓病(CKD)該当者への保健指導実施率は52.7%(77人/146人)である。また、25年度は3回、地域の腎専門医の助言を得ながら保健指導スタッフ学習会を実施した。
			52132	慢性腎臓病(CKD)に伴う循環器疾患(脳血管疾患、心筋梗塞など)の発症の抑制を図ります。	心血管系疾患(脳血管疾患、虚血性心疾患等)の重症化予防のため、高血圧・高血糖該当者への保健指導の実施率の向上を図る。更に、慢性腎臓病予防のための啓発及び関係機関との連携を推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	平成25年度末現在で、Ⅲ度高血圧該当者に対する保健指導実施率は90.2%(37人/41人)、Ⅱ度高血圧該当者では53.3%(131人/246人)である。
			52133	各ライフサイクルに応じた長期にわたり進行する腎疾患を早期に発見するために、生涯にわたり継続して予防できる体制を整備します。	胎生期(妊娠)から生活習慣病を予防するため、妊婦健診結果から妊娠糖尿病、妊娠高血圧症候群、貧血該当者への保健指導の実施を図り、若人健診等へつなげる。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	母子手帳交付時の聞き取りを通して、検査結果の説明や受診の必要性の説明を行った。
			52141	特定健診などの受診率の向上を図ります。	生活習慣病の発症予防及び重症化予防のため受診勧奨を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	各種団体及び広報等のあらゆる機会を通して、受診の必要性の説明を行った。また、18～39歳の市民を対象に若人健診及び若人国保人間ドック、保健指導を実施し、生活習慣病の発症予防に努めた。
			52142	がん検診などの内容の充実を図ります。	近年継続して死亡原因の1位を占めているがんを早期に発見し早期治療することで、手遅れによるがん死を防ぐため、より多くの市民への啓発を行ない、受診率の向上及び内容の充実を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	健診の受け方や期間等を個人の生活に合わせて、選べるよう健診方法を工夫し、広報やあらゆる機会をとらえて健診の受診勧奨を周知した。
			52143	特定健診の新規受診者の掘り起しを積極的に実施します。	脳血管疾患死亡率の減少、虚血性心疾患死亡率の減少、糖尿病腎症による新規透析導入患者数の減少のため、受診率の向上を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	平成25年度特定健診受診率は、国の目標率(70%)、玉名市の目標率(45%)に対し、玉名市では32.3%(4861人/15060人)であり、新規受診者は587人であった。
	3 社会福祉の充実	1 子育て支援の充実	53111	延長保育事業、一時預かり事業、放課後児童健全育成事業などを推進します。	保護者の保育ニーズに対応し、延長保育や一時預かり事業を実施することで、子育てにおける負担軽減や仕事と子育ての両立支援を行う。就労等のため日中、保護者が家庭にいない小学生を放課後に児童クラブで預かり、適切な遊びと生活の場を提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	延長保育事業は、公立3園私立13園の16園が行っており、利用者も年々増加。一時預かり事業も同様、就労予定の保護者が利用しており空きがない状態。放課後児童健全育成事業に関しては、市内全小学校区を対象に12クラブで実施。玉名町小学校区へ安定した学童運営のため玉名町第2学童クラブ室を新設した。
			53121	(子育て支援の)情報発信や相談の窓口となる地域子育て支援センターなどを中心に、子育て支援団体などとのネットワーク化を推進します。	地域子育て支援拠点施設の活動を軸に、こそだての会会議の場を通じて子育て支援団体との情報の共有と発信を行うとともに、活動支援を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	年6回行われる「こそだてのわ」会議には30余りの団体が参加しており、情報の共有と発信を行うことにより子育て支援団体の活動活性化に寄与している。また年一回の情報誌の発行も行っている。
			53131	ファミリーサポートセンターや病児・病後児保育など、子育てを支える事業の充実を図ります。	ファミリーサポートセンターや病児・病後児保育など、子育てを支える事業について、さらにニーズに応じた内容の充実を図る。	8. 評価不能	状況の説明	ファミリーサポートセンター事業は、玉名市を5つのブロックに分け、地域ごとにサポーターの地域リーダーを選任し、会員相互の連携と活動の強化を図った。いずれの事業も前年度に比べ利用者が増加しており、ニーズに応じた必要なサービスが提供できている。
			53141	ひとり親家庭などの生活の安定と自立を目指して、多様な家庭環境などの現状をふまえた総合的な支援策の推進を図ります。	ひとり親家庭などの生活の安定と自立を目指して、多様な家庭環境などの現状をふまえて、必要に応じた総合的な支援策の推進を図る。	8. 評価不能	状況の説明	平成25年度は、母子家庭等高等技能訓練促進費支給事業及び母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業の対象者を父子家庭の父へ拡大しました。対象資格に准看護師を加えることとし、要綱を改正した。

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)					
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
			5	53151	家庭児童相談・婦人相談事業などを通じて、問題の早期発見やきめ細やかな対応を図ります。	家庭における適正な児童の養育その他家庭児童福祉の向上及び女性相談窓口の周知を図るため、民生委員児童委員等の説明会や広報等により相談体制の充実を図る。	8. 評価不能	状況の説明	婦人相談員2名による女性相談、家庭児童相談員による要保護児童相談で相談の支援体制を行っている。
				53152	家庭だけでなく、保育所や学校、地域社会においても、子育てのための環境整備を推進します。	地域子育て支援拠点を中心に、保育所や学校なども連携を図りながら、子育て環境の整備に努める。	8. 評価不能	状況の説明	地域における子育て支援の拠点として、5ヶ所の地域子育て支援拠点を配置しており、保育所や学校なども連携を図りながら活動を行っており、3万3千人余りの利用者がある。
		2 障がい者支援の充実	1	53211	障がいのある方や家族が抱える相談に対応するため、有明圏域での相談支援事業や手話通訳者の設置を引き続き実施します。	既に着手している。障がいのある人やその家族の悩みや相談に対処し、障害のある方の暮らしを支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	4事業所に委託し有明圏域で相談支援事業を実施している。また、相談支援事業所と連携を図り有明圏域の市町村を毎月巡回し相談会を開催した。週1回は本庁ロビーにおいて手話通訳者を設置している。
			2	53221	各種福祉制度の適正な運用を図るため、「広報たまな」による周知や窓口照会への対応を徹底して実施します。	必要な福祉制度の情報を提供し、障がいのある人やその家族の暮らしを支援する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	広報や窓口等を通じて啓発活動をしている。
			3	53231	心身の発達に遅れや障がいあり、継続的な療育などが必要な子どもや家族に対して、子どもの年齢に応じた総合的な療育指導や助言を行う取組を推進します。	既に着手している。今後も早期発見早期療育を推進する。	2. 概ね達成	状況の説明	乳幼児健診等を通じて早期発見を促し、関係各課と連携をとりながら早期療育に繋がるよう取り組んでいる。
				53232	乳幼児期の保育や教育に携わるスタッフへの連続性ある支援体制の充実をめざす。	保育所などにおいても、発達障害や気になる子が増えており、心理相談員を配置し、保育所などへの巡回相談や研修会、講座等を行い、スタッフの資質向上と支援体制の充実を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成25年度より心理相談員を配置し、発達障害児や気になる子に対して取り組んでいる。ケース検討会を全保育所(20園)でそれぞれ4回程訪問し実施した。
			4	53241	法律などに則った福祉サービスなどを提供しながら、今後も福祉の向上に努めます。	障がい者やその家族の生活を支援するために必要な福祉サービスを提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	相談支援事業所をはじめ、関係機関と連携を取りながら、必要なサービスを提供している。
				53242	障害者住宅改修事業などにより、住宅の確保や在宅生活での自立支援を実施するとともに、介護者の負担軽減を図ります。	65歳未満で、重度の身体障がい者等が世帯に在り、住宅改修に必要な経費を助成することにより在宅での自立を促すとともに、障がい者の寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	障がい者の障がいの程度・内容に応じ、支援となるよう実施中である。
			5	53251	障がい者に対する市民の理解を深め、障がい者の権利を擁護するための施策を県と連携して推進します。	障がい者に対して正しく理解し、健常者とともに共同社会を築く。また、障がい者の基本的権利が守られるよう関係者と連携を図りながら推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	成年後見人制度や権利擁護についての相談や啓発活動を実施している。
		3 高齢者支援の充実	1	53311	介護を必要とする高齢者が適正な介護サービスを利用できるように介護保険制度の情報提供などを積極的に実施します。	包括支援センターやサービス事業者のケアマネージャと連携を図り、広報や高齢者の集いで事業の周知などに努め、高齢者の生活を支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	新規認定者の認定結果送付時に適時行っている。
			2	53321	清掃活動、独居老人宅訪問、神楽などの伝統行事への参加などの地域貢献活動を実施する老人会は、補助金の支給により支援します。	老人クラブは地域貢献活動を中心に地域のために活動している団体であるため、補助金の支給を含め支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	97件の単位老人クラブに各クラブの活動費として補助金支給を行っている。また、市老人クラブ連合会にも「ふれあいアンドヘルプ事業推進」や「健康づくり推進事業」等の全体活動のため、補助金支給により支援を行っている。(平成25年度決算額:12,789千円)
				53322	個々の高齢者の経験や特技などを生かした就労の機会を提供するシルバー人材センターは、補助金の支給により支援します。	高齢者の雇用機会を拡大するためのシルバー人材センターへ補助金を支給し、センター運営の安定化を図る。もって、高齢者雇用の充実を支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	センター運営安定のため、玉名市シルバー人材センター事業補助金を支給し、支援を行っている。(平成25年度予算及び決算額、19,000千円)
			3	53331	介護の必要がない高齢者には、高齢者福祉事業などによる細やかな高齢者福祉サービスを提供します。	高齢者の生活や介護の悩み・相談に対処し、適切なサービスの提供に努め、高齢者の生活を支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	高齢者が生活するうえで、必要なサービスを包括支援センターやサービス事業者のケアマネージャと検討しながら提供。また、市のサービスの内容の周知を包括支援センター主催のケアマネージャの会議等でやっている。
		4 地域で支え合う体制の充実	1	53411	市の社会福祉協議会や民生委員・児童委員などにより地域による見守り体制と市の連携を進めます。	高齢者だけ(65歳以上)の世帯の情報提供。	1. 達成(完了)	状況の説明	民生委員・児童委員が高齢者への見守り活動ができるよう65歳以上の世帯の情報を提供している。7月に配布済み。
				53412	災害時要援護者に対する支援では、災害に支援を求め高齢者や障がい者などの実態把握、関係各種団体との連携や調整に努めます。	民生委員・児童委員に玉名市災害時要援護者避難支援計画(個別計画)票を配布し、実態把握に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	要支援者の方々から災害時要援護者避難支援計画に登録していただくために、民生委員・児童委員が地域で推進活動を継続している。3月末現在登録者数1,500名余り。
			2	53421	深刻な社会問題として近年急増し顕在化している児童虐待やドメスティック・バイオレンスを防止します。	要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会による関係機関の連携を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	地域協議会では代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を実施。個別検討会議では、関係機関と連携し定期的な会議により支援体制の整備を行っている。
				53422	高齢者の虐待を防止するとともに、様々な人権問題の解決に適切に対応するため、関係機関や地域社会と連携して総合的な取組を実施します。	地域包括支援センター及び、介護保険サービス事業所・関係機関等との連携の強化により、虐待の防止と問題解決に向けた支援の構築を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	虐待及び困難事例の増加により、適切な対応と専門性に基づく問題解決への支援に取り組み、各機関との連携に努めている。

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)				
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々な節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
							項目	内容
4 社会保障 の充実	1 介護保険 事業の充実	1 介護保険 事業の充実	53423	障がい者などの虐待を防止するとともに、様々な人権問題の解決に適切に対応するため、関係機関や地域社会と連携して総合的な取組を実施します。	障害者虐待防止法や熊本県障害のある人もない人もともに生きる熊本づくり条例を踏まえ、差別をなくし人権に尊重した地域をつくる。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	総合福祉課内に障害者虐待防止センターの設置し、相談や対応を行っている。民生委員児童委員や警察署や保健所と連携して行うように協力依頼をしている。
			53424	様々な人権問題の解決に適切に対応するため、関係機関や地域社会と連携して総合的な取組を実施します。	様々な人権問題を常に把握し対応するために、熊本県市町村人権啓発推進協議会や法務局、人権擁護委員などと連携を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	熊本県市町村人権啓発推進協議会に加盟し、研修会に参加し、連携を図った。また、法務局・人権擁護委員との連携のため荒くまもと県人権啓発活動地域ネットワーク協議会王名分科会に参加し情報の共有を図った。
			53431	有償ボランティアによる移送サービスは、関係団体との調整を実施し充実に努めます。	道路運送法及び道路運送法施行規則等の規定の範囲内で、NPO法人、社会福祉法人等運送主体の先も含め充実に努める。	2. 概ね達成	状況の説明	現在、NPO法人1社が運行事業を行っている。有償運送運営協議会を開催し、運航状況、利用者の意見、課題等を協議し、有償運送の向上を図っている。
			53511	すべての施策を展開する基本的な視点としてユニバーサルデザインの考え方を踏まえます。	年齢や障がいの有無に関わらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインしていただけるよう啓発活動をおこなう。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	広報等を通じて啓発活動をおこなった。関係各課、地域の団体等と連携しながら努める。
			53512	関係が深い障がい者団体などからの参考意見を取り入れながら今後ともユニバーサルデザインを推進していきます。	多機能トイレ、使い勝手が良い自動販売機など年齢や障がいの有無に関わらず、だれもがさりげなく使えるユニバーサルデザインの推進を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	広報等を通じて啓発活動をおこなった。関係各課、地域の団体等と連携しながら努める。
			54111	高齢者のニーズに合わせて、地域密着型サービスなどの介護サービスの充実を図ります。	平成26年4月に地域密着型小規模多機能型居宅介護施設を1施設開設予定。平成27年度以降は、今後策定する第6期介護保険事業計画で高齢者等のニーズに合わせて計画する。	2. 概ね達成	状況の説明	平成26年4月に地域密着型小規模多機能型居宅介護施設が1施設開設。今後、更に高齢化社会が進むことから第6期介護保険事業計画策定にて計画対応する。
			54121	地域支援事業(任意事業)などの充実を図ります。	高齢者の生活や介護の悩み・相談にに対し、適切なサービスの提供に努め、高齢者の生活を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	包括支援センターやサービス事業所のケアマネージャーと連絡を取ったり、広報や高齢者の集会で事業の説明に努めている。
			54131	居宅サービスや施設サービスなどの介護サービスや介護予防サービスを提供します。	要介護認定や要支援認定を受けた高齢者に対し、適宜、きめ細かな居宅サービスや施設サービスなどの介護サービスや介護予防サービスを提供する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	施設サービスの入所待機状況を適時サービス事業所と連携し、調査を行っている。
			54141	「いきいきふれあい活動」や「介護予防体操」などの一次予防事業を実施し努めます。	平成24年度末で、「いきいきふれあい活動」83カ所、「介護予防体操」193カ所を実施。26年度までの第5期介護保険事業計画の目標をすでに達成している。行政区259地区のうち、地区公民館がない所もあるが、平成27年度以降は、今後策定する第6期介護保険事業計画で高齢者のニーズに合わせて計画する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	平成25年度末で、「いきいきふれあい活動」97ヶ所、「介護予防体操教室」110ヶ所を実施。介護予防拠点整備事業を利用して9ヶ所を整備し、より多くの地区で1次予防事業を推進している。
			54142	虚弱な高齢者を対象に通所や訪問型の運動・口腔等機能改善のための二次予防事業を実施し介護予防に努めます。	参加者の機能向上のためのプログラムの実施により、できる限り要介護状態に陥らないよう努める。平成27年度以降は、今後策定する第6期介護保険事業計画で高齢者のニーズに合わせて計画する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	特とく教室(通所型運動機能向上プログラム)を市内3カ所で月4回12ヶ月実施。(1人あたり4か月間16日)延べ参加者1889名。運動器項目の改善率42%。生活機能項目改善率80%。教室修了者に対し、地域の1次予防事業を紹介したり、月1回6カ月の「おさらい会」を実施し110名の参加あり。
			54151	地域包括支援センターの機能強化と充実に努めます。	包括支援センターの機能強化を充実し、連携強化を図り、高齢者の生活の悩みや介護に関する問題解決に努める。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	玉名市包括支援センターとの連携により、高齢者の生活・介護に関する問題解決を図った。また、平成25年度より高齢者が相談しやすい事務所配置や権利義務等福祉サービスの連携強化等を図るため、包括支援センターを一本化した。
			54211	医療費抑制のため、ジェネリック医薬品の推進、被保険者の健康医療に対する意識の高揚などを図ります。	ジェネリック医薬品差額通知書の送付及びジェネリック医薬品使用希望カードの配布により、ジェネリック医薬品の使用を促し医療費の抑制に努める。	4. 進行中 (前半)	評価不能の理由	疾病やそれに伴う薬剤の種類等によりジェネリック医薬品に変更できないものもあり、変更するためには医師の判断が必要であり評価が困難であるが、継続して啓発をしていく。
			54221	受診率向上の取組を講じ、(国民健康)保険事業の推進を図ります。	特定健康診査の受診率を平成25年度40%、平成26年度45%、平成27年度50%、平成28年度55%と定め、申込方法等を見直し、受診勧奨の強化に努める。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	平成25年度特定健康診査受診率は32.3%となり、数値目標の達成はできなかった。
			54222	保健師などによる健診事後指導を充実させ、(国民健康)保険事業の推進を図ります。	特定保健指導の実施率を平成25年度35%、平成26年度40%、平成27年度45%、平成28年度50%と定め、健診後の指導の充実を図り、早期治療、重症化予防に努める。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	平成25年度特定健康診査の保健指導実施率は56.6%であり、目標を大幅に上回る結果となった。
54231	後期高齢者医療制度の円滑な事業運営を図るため、制度の周知に努めます。	毎月年齢到達者に対し制度説明会を開催し、制度内容を広報誌掲載やホームページ更新する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	円滑な事業運営を継続するため、毎月各自治区毎に制度説明会を開催し、保険料収納率の向上や給付事業への理解と認識を図った。また、機会あるごとに広報誌やホームページに保険料の納付、料率、健康診査、給付事業等について掲載し、後期高齢者以外の方を含め広く制度を周知することができた。			
54241	玉名市国民健康保険滞納対策事業実施要綱により、短期被保険者証や資格証明書発行し、また、被保険者との接触の機会確保に努めるなどして収納率の向上を図ります。	短期被保険者証や資格証明書発行時に税務課に取り次いでもらい、滞納者との接触の機会確保に努め、収納率の向上を図る。	1. 達成 (完了)	状況の説明	短期被保険者証や資格証明書発行時に税務課に取り次いでもらい、滞納者と接触し、納税相談等を行い、収納率向上に努めた。			

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)								
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細目 施策№	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)					
							項目	内容				
		3	国民年金制度の啓発	54311	年金制度の理解を深めるための情報提供や相談体制を充実し、制度の普及啓発を進めることで、対象者への適正な完全適用を目指します。	年金制度について更なる周知を図るため、広報誌掲載やホームページの更新をおこなう。また、ねんきんネットを活用した相談体制を充実させる。	1. 達成 (完了)	状況の説明 年金制度について、広報誌等への掲載を行い、制度の普及啓発に努めた。				
				54411	要保護世帯の援助や自立支援を推進するため、庁内関係課や関係機関と連携した相談や援助・指導体制の充実に努めます。	特に庁外の関係機関、玉名公共職業安定所や玉名市社会福祉協議会等と連携を図り、要保護世帯の自立を促進する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 玉名公共職業安定所、玉名市社会福祉協議会をはじめ関係機関等との連携により、要保護世帯の自立促進するに努めた。あわせて、来年度から施行される生活困窮者自立支援事業の準備作業にも着手した。				
				55111	九州看護福祉大学をはじめ包括協定大学での公開講座の積極的な活用します。	関係各課において、包括協定を結んでいる九州看護福祉大学、崇城大学、熊本県立大学の公開講座を活用する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 平成25年度は、九州看護福祉大学と人権啓発課との共催事業により、5件の公開講座を実施した。				
					55112	大学講師を招いた市民ニーズに合った各種講演会などを開催します。	関係各課において、包括協定を結んでいる九州看護福祉大学、崇城大学、熊本県立大学をはじめとする大学講師を招いた市民ニーズに沿った各種講演会などを必要に応じ開催する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 平成25年度は、九州看護福祉大学との共催事業により、高齢介護課において1件の講演会を実施した。			
				55211	図書館、体育館、グラウンドなどの(九州看護福祉)大学施設の市民活用について、引き続き推進するよう要望していきます。	九州看護福祉大学に対して、市民のニーズに沿った大学施設の利用が円滑に図られるよう、必用に応じて大学に要望する。	6. 未着手	未着手の理由 九州看護福祉大学の施設利用については、現況において、本市の公的団体、任意団体、事業所及び個人の申請に応じ、体育館、教室、グラウンドなどの利用が図られているため、大学への要望活動は実施していない。なお、平成25年度の市施設利用実績は、団体や事業所によるものが24件、その他各個人によるものが数件あった。				
					55311	玉名の歴史、文化、観光などの地域資源を活用した市民と学生の交流事業を推進します。	玉名の地域資源を活用した市民と学生の交流事業を推進する。また、本市と九州看護福祉大学との連携協力に資するため大学への職員派遣を実施する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 九州看護福祉大学の学生と市民の交流の一環として、本市で開催された祭や催しに舞踏系サークルの「華莉踊子エイサー隊」や「飛羽隊」の出演、吹奏楽部の施設慰問、ボランティアサークルや端艇訓練部のボランティア活動などが行われた。また、大学への職員派遣も実施した。			
				55321		保健師学生の地域看護実習や市保健師の現任教育などを通して互いに連携し、保健師や保健サービスの資質向上を図ります。	保健師学生の地域看護実習及び現任教育等の研修会等を通じ、保健師スキル向上と保健事業のあり方や方向性を見直し検討する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 熊本保健科学大学看護科学生実習を受け入れ、教諭や学生と意見交換を行った。			
				55322		行政と九州看護福祉大学の連携事業として実施していた健康フェアは、本来の住民への健康・食育に関する啓発の場とするため、今後、内容検討を重ね、より多くの市民に有効な健康づくりを図ります。	より多くの市民が参加し、意識を高める健康・食育フェアとするため、内容・場所・啓発方法等検討する。	5. 着手	状況の説明 平成24年度から「食育推進計画」に基づき「食育フェア」の名称で、関係機関・市民団体等と協働により開催し、約1,000人の参加があり賑わった。九州看護福祉大学口腔保健学科の出展協力があった。			
				6	みんなで進める協働のまちづくり	1	市民協力の推進	61111	市民参加や市民協働の推進に関する指針や条例などの制定を検討します。	市民参加や市民協働を推進するための条例等を整備し、実現に向けた施策展開を図る。	6. 未着手	状況の説明 係業務の遂行上、着手する段階にいたっていない。
								61112	市民の市政に対する意見や要望を把握するため、市長との意見交換を行う場の確保を図ります。	市長との意見交換の場を設け、単年度ごとに計画し、実施を検討する。	5. 着手	状況の説明 行政区ごとや団体との意見交換を行ったが、行政区や団体からの申請が少なく、単年度における目標実施数にはいたらなかった。
61121	地域自治体を単位として地域協議会などを通じて協働のまちづくりを目指します。	協働のまちづくりの「よりどころ」となる指針等を策定し、実現に向けた施策展開を図る。	5. 着手					状況の説明 平成19年度に協働のまちづくりの基礎となる校区コミュニティ協議会設置に関する調査研究を実施した。				
61211	新たな公共を担うNPOやボランティア団体などの市民公益活動を応援するため、「市民活動情報サイト『たまりん』」の活用を促進します。	「たまりん」の活用を促すとともに、各団体による情報発信件数を150件/年以上とする。また、「たまりん」へアクセスした件数は15000件/年以上を目標にする。	5. 着手					状況の説明 平成23年11月から一部リニューアルを行った。平成25年度の情報発信件数は297件、アクセス件数は10,746件である。				
	61212	市民公益活動を応援するため、助成金制度の創設や公共施設の空きスペースを活用した市民活動センターの設置などの支援を検討します。	市民活動団体の意向を把握した上で、市民活動支援の拠点を設置する。					5. 着手	状況の説明 庁舎跡地検討委員会に対し、岱明庁舎跡地での設置を提案していたが、同庁舎活用の方向性が定まり、場所、設置の要・不要、ニーズの把握も含めて継続検討課題とした。			
61221	玉名21の星事業も含め、コミュニティ活動、地域づくり活動に対する支援のあり方を検討します。	玉名21の星事業の事業主体である各校区のまちづくり委員会も含めた市民活動団体について、市民福祉の向上に資する分野を中心に財政的支援制度の創設を検討する。	1. 達成 (完了)					状況の説明 平成26年度から実施する「キラリかきやけ玉名づくり応援事業補助金」制度を創設した。				
	61222	地域内住民と関係団体とともに活動する「校区コミュニティ協議会(仮称)」を設置についても検討します。	「校区コミュニティ協議会」設置に向けて、市役所内の関係課と協議調整を行う。					5. 着手	状況の説明 平成19年度に協働のまちづくりの基礎となる校区コミュニティ協議会設置に関する調査研究を実施した。			
	61223	コミュニティづくりの拠点づくりとして既存施設の活用を推進します。	市民活動団体の意向を把握した上で市民活動支援の拠点を設置する方向で検討を進める際には、既存施設を優先して活用する。					5. 着手	状況の説明 庁舎跡地検討委員会に対し、岱明庁舎跡地での設置を提案していたが、同庁舎活用の方向性が定まり、場所、設置の要・不要、ニーズの把握も含めて継続検討課題とした。			

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)						
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細 々 節	施策№	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)		
								項目	内容	
2 人権啓発の推進	1 人権教育と人権啓発活動の充実		3	61231	菓草に関する情報発信や普及活動を積極的に実施する市民団体を支援します。	小笠山菓草の会をはじめ、上古閑宝探し委員会等の菓草を活用した地域づくりを支援することで、商品開発等を促進し、独自性ある情報を全国に発信する。	5. 着手	状況の説明	小笠山菓草の会が開くイベント等への参加を通じて情報の共有を図っている。行政イベントや広報誌、公民館講座等を通じて住民への菓草の普及や市内外への情報発信を実施。	
				62111	地域や学校、家庭、職場などあらゆる分野において、各組織と協働し、人権啓発の推進に努めます。	今後も毎年度、市内の小学校を中心に法務局、人権擁護委員と連携し、「人権の花運動」を実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	滑石小学校において法務局、人権擁護委員と連携し実施。花の種とメッセージを風船に付けて飛ばすときは、近所の保育所の園児も参加。	
				62112	国、県や人権擁護委員など関係機関との連携を強化し、『玉名市人権教育・啓発基本計画』の推進と迅速且つ的確な対応ができるような相談体制の充実を図ります。	「玉名市人権教育・啓発基本計画」に則した市民の人権問題解決のための意識の向上を図ったり、人権問題があった場合、すぐに解決できるように法務局や人権擁護委員、庁内関係課とすぐ対応できるような体制をとる。	4. 進行中(前半)	状況の説明	「玉名市人権教育・啓発基本計画」は、玉名市人権教育推進協議会総会時に配布して啓発を行った。相談体制においては、相談内容を確認し法務局へ依頼したり、3ヶ月に1回開催される人権相談を紹介した。	
				62121	人権教育と啓発活動の充実を目指して、市の広報紙やホームページなどを通じた啓発に努めます。	市のホームページに各人権課題に即した構成をして掲載し、また、人権問題解決のための内容を広報紙に掲載する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	市のホームページに人権問題(子どもや女性、障がい者など個別の事案に対する啓発)を掲載。ほかに法務局や県からの啓発に関する事項や3ヶ月に1回行う人権相談を広報たまにに掲載。	
				62131	人権問題への積極的な関心や態度、的確な技能などが日常生活の中で実践できるような啓発を推進します。	企業や地域において、人権問題に関心をもったもらい、人権問題解決のためのビデオを貸し出ししたり、要望に応じて啓発講座等を開催する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	企業内で従業員向けの人権問題啓発のビデオを貸し出した。	
				62141	毎年12月4日～10日までの「人権週間」の期間中においては、より一層市民への啓発を図ります。	人権週間期間中の1日間、市内の要所において街頭啓発を行う。また、期間中啓発用の横断幕を設置する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	12月2日・3日にわたり、午前10時から午後3時まで人権相談を実施後、草枕温泉でんすい、ゆとりーむ、ふれあいセンター、玉名駅において啓発のためのチラシ等を配布。他に人権週間期間中市役所前に横断幕を掲揚。	
	3 男女共同参画社会の推進	1 男女共同参画社会の形成		1	63111	男女共同参画社会推進事業に関わる研修、相談業務、交流活動をはじめ、専門性の高い学習機会を提供します。	九州看護福祉大学との共催による講座の開催、県主催「男女共同参画地域リーダー研修」参加の推進。	4. 進行中(前半)	状況の説明	九州看護福祉大学との共催による公開講座を年5回実施。県主催「男女共同参画地域リーダー研修」へ1名派遣
					63121	各種審議会などへの女性委員の登用を推進し、毎年女性登用状況調査と結果を公表します。	平成24年度末に策定した「第2次玉名市男女共同参画計画」に即して、平成29年度末までに女性委員の登用35%を目指す。	4. 進行中(前半)	状況の説明	各種審議会等への女性委員登用については、平成24年度より0.3%上昇し、23.1%となった。結果は毎年ホームページで公表している。
					63131	『玉名市女性人材リスト』の作成と積極的活用を図ります。	玉名市に在住する女性の人材の発掘と各種審議会等への人材情報の提供を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	女性人材リストへは1名の登録があった。
					63132	玉名市男女共同参画審議会、玉名市男女共同参画社会行政推進委員会により、男女共同参画社会の形成に向けた総合的企画と効果的な施策を推進します。	玉名市男女共同参画審議会により、男女共同参画社会の形成の促進に関する基本的・総合的な施策などを調査審議し、玉名市男女共同参画社会行政推進委員会により、施策を総合的・効果的に企画し推進する。	8. 評価不能	評価不能の理由	総合的企画と効果的施策であるかどうかの評価は困難
					63141	平成24年度に『第2次玉名市男女共同参画計画』を策定します。	平成24年度に『第2次玉名市男女共同参画計画』を策定する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成25年3月に「第2次玉名市男女共同参画計画」策定済み。
					63151	「男女共同参画宣言都市」として周知することで、今後の更なる施策の推進を促し、男女共同参画社会の実現に向けた機運を醸成させます。	男女共同参画社会の実現に向けた機運を醸成させるため、「男女共同参画宣言都市」を周知し、男女共同参画を推進する体制作りに取り組む。	6. 未着手	未着手の理由	本市の男女共同参画社会へ向けた機運が未だ高まっていないため
	2 男女共同参画センターの開設		1	63211	男女共同参画社会推進のための機能的な拠点施設を確保します。(男女共同参画センターの開設を除く。)	庁舎移転に伴い、拠点施設の位置や規模等について平成28年度末までに具体的な検討を行う。	6. 未着手	未着手の理由	拠点施設のあり方を検討する必要があり、具体的な検討ができていない。	
				63212	男女共同参画センターの開設を目指します。	平成29年度末までに男女共同参画センターを開設する。	6. 未着手	未着手の理由	センター機能のあり方についての論議が十分でないため。	
4 情報公開の推進	1 情報公開の充実		1	64111	インターネットによる議会映像の放映を推進します。	市民の市政への参加意識を高め、また、議会をより身近なものとするよう、インターネットによる議会映像の放映を実施する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成19年度より、インターネットによる議会映像の放映を実施している。なお、平成25年度は、本会議だけでなく委員会の放映も実施できるよう新庁舎の設備を検討した。	
				64121	情報公開請求には素早い対応を図ります。	公文書が容易に把握できるような仕組みを構築し、また、情報公開事務の画一的な運用を図るために職員研修を実施する。	5. 着手	状況の説明	保存文書台帳の作成等公文書の保存状況を各課において把握できるようにしている。入庁1年目の職員を対象とした情報公開の研修を行った。	

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)				
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	細目 施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細目・タテ)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
							項目	内容
			3	64131 議事検索システムの構築により、事務の効率化を図ります。	使いやすい/解りやすい議事検索システムの構築により、事務の効率化を図る。	1. 達成 (完了)	状況の 説明	平成10年2月にシステムを構築し、平成24年2月より庁内LANによる議事検索システムにバージョンアップし、事務の効率化を図っている。
		2 個人情報保護対策の強化	1	64211 個人情報の収集や利用にあたっては、利用目的を明確に説明するとともに、原則として、本人からの事前の同意を得ることとします。	個人情報については、住民票・戸籍の発行や住民異動などは原則として本人申請となっています。来庁が不可能な場合には本人からの委任状の提出を求めいきます。また、委任状による代理人の確認も常に行なっています。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	取り扱いについては、職員、非常勤職員ともに十分に理解し事務をおこなった。
			2	64221 個人情報保護を更に推進するために、適切な取り扱いを徹底し、個人情報保護意識を強化します。	個人情報保護事務の画一的な運用を図るために職員研修を実施する。	5. 着手	状況の 説明	平成25年度に入庁した新人職員に対し、個人情報保護事務についての研修を実施した。
		3 行政情報発信の充実	1	64311 広報紙は、行政情報だけではなく地域の話題なども盛り込むように努め、市の情報発信力を高めます。	現在の毎月2回、1日と15日号の広報紙を発行している。しかし市民への簡素で確実な行政情報を市民へ提供し、情報集約化を行うため、月1回(1日号)の発行を目指し、さらに市民へわかりやすく工夫を凝らした広報紙を作成する。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	平成25において毎月2回、1日と15日号の広報紙を全世帯に発行した。(月1回発行にしているは現在関係機関との調整を今後行っていく)
			2	64321 ホームページは、効果的かつ利便性を重視した情報発信を推進します。	総務省のホームページのガイドラインをふまえて、さらに工夫をこらし、ホームページへの100万アクセス数を超えるよう努める。また平成27のホームページリニューアルに伴い、市内外からの閲覧者に対してさらに魅力ある情報発信となるよう作成する。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	毎年100万アクセスを超えている。写真などのコンテンツを増やしたことにより、見やすいホームページに変更した。前年よりアクセス数も増加。
				64322 記事を作成する職員の意識と技術の向上に努めます。	ホームページの記事作成に関する基礎研修などを、毎年、ホームページ委託業者を講師に迎え、関係職員の研修を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	基礎研修を行った上で、別に市の広報職員が講師として記事作成における応用研修を行った。
	5 行政運営の効率化	1 健全な財政の運営	1	65111 自主財源の一層の確保を図り、行政評価制度と予算編成を連動させることにより予算の適正な執行と事務事業の見直しを実施します。	計画期間中(平成24～平成28年度)財政構造の改善を行い、財政健全化を推進する。 【数値目標の設定】 経常収支比率:各年度90%以下	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	市有財産の売却等による自主財源の確保、高利市債の繰上償還による公債費の削減や事務事業の見直しによる経常的経費の削減を実施中。 経常収支比率:平成25年度 87.4%(未確定) (参考)平成24年度 89.7%
				65112 中長期的な展望に立った施策の推進に取り組み健全な財政の運営を図ります。	計画期間中(平成24～平成28年度)長期財政見直しを作成し、普通建設事業の計画的な実施など中長期的な展望に立った財政運営を行う。 【目標の設定】 長期財政見直しの作成:各年度更新	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	平成25年11月に長期財政見直しを更新し、中長期的な展望に立った財政運営を行っている。
				65113 基金を計画的に運用し健全な財政の運営を図ります。	計画期間中(平成24～平成28年度)基金の計画的な運用を行い、財政健全化を推進する。 【数値目標の設定】 財政調整用基金残高が標準財政規模に占める割合:各年度20%以上	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	将来の財源不足に対応するため、取崩し額を最小限に抑えようとするとともに、可能な限り積立てを行うなど計画的な運用を図っている。 財政調整用基金残高が標準財政規模に占める割合:平成25年度 36.4%
		2 行政経営の推進	1	65211 総合支所から支所への移行を検討し、住民にわかりやすい本庁と支所組織の機能のあり方を検証します。	平成24年10月に総合支所から支所に移行し、従前の行政サービスの水準が低下しない機能性や効率性等の面を十分に検討した組織へと再編する。また、本庁と支所間の所掌事務の適切な分掌を行なうとともに、第2次定員適正化計画で定める職員の削減数を着実に達成する。	2. 概ね達成	状況の 説明	支所窓口業務に民間委託を導入するための庁内検討を重ね、委託対象とする事務選定、導入スケジュール作成、公募要領作成等のほぼ全ての事前準備を終え、26年8月からの委託導入に備えた。また、26年10月に予定する支所での戸籍記載事務の本庁集約についても、移管先である市民課との調整も終え、業務移管に備えた。
			2	65221 行政評価の効果的な活用のため、事務事業の成果を客観的に検証することにより経営意識の向上を図ります。	昨年度の試行運用を経て24年度から本格運用し、評価の対象とされる全ての事務事業について、事後評価を実施する。事前評価は、従前どおり、事業費下限額を上回る全ての事務事業を対象に実施する。更に職員の経営意識を向上するために、市民意識調査等の外部評価の導入を検討する。	3. 進行中 (後半)	状況の 説明	事後評価が328事務事業、事前評価が42事務事業(細事業)を対象に実施したが、前年度評価を十分に把握せず事業を継続したり、予算要求されたものが見られた。また外部評価のひとつとして導入した、市民3,000人を対象に行政活動の重要度と満足度についてのアンケート調査を実施し、約32%(956人)の回収結果であった。なお、更に職員の経営意識を向上するための外部評価制度を構築することとした。
			3	65231 職員は、採用後の一定期間に幅広く行政分野を経験させます。	計画期間中も、これまで同様、入庁後ある程度の期間までは、基本的に3年を一つのサイクルとして人事異動を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	概ね3年を目途に人事異動を行っている。
				65232 県などとの人事交流を進めるなど計画的な人事配置や人材育成を実施します。	他の自治体や団体への派遣や人事交流を推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	人事交流や派遣は毎年コンスタントに行っている。
			4	65241 電子入札の導入に取り組みます。	電子入札の導入は、システム導入の経費と業者への導入調査結果などを十分に検討したうえで、平成27年4月をめどに導入する。	6. 未着手	未着手の理由	電子入札の導入は、平成24年度に他市の状況や業者の導入環境を見据えることとし導入目標を延期している。平成26年度末において、平成27年4月に導入予定であるため。
				65242 価格のみでなく技術力も考慮して落札業者を決定する総合評価方式の実施に努めます。	公共工事の品質確保を図るために価格のみでなく技術力も考慮して落札業者を決定する総合評価方式を対象案件がある場合に適宜実施する。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	平成25年度は、総合評価方式での入札を必要とする事例はなかった。
		3 職員の計画的な人事配置と育成	1	65311 合併後の10年間は、退職者数の3分の1を新規採用しながら、定員の適正化を図ります。	職員の新規採用は、平成28年4月までは、退職者数の3分の1とする。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	平成26年4月1日現在、職員数は526人(再任用、任期付職員除く)であり、定員適正化計画(533人)以上の進捗状況である。

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H25年度末の状況)				
基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節)	施策No.	「主要施策の概要」の要旨 (最も細分した施策の要旨・細々々節)	計画期間の具体的な目標 (平成28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H25年度末 現在)	平成25年度末の進捗状況の説明 (H25年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
							項目	内容
			2	65321	『人材育成基本方針』に基づき、引き継ぎ職員的能力開発を積極的に推進します。 職場内研修の推進と職場外研修の充実を図り、自己啓発への支援を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 職場外研修を充実させており、結果として間接的に職場内研修の推進や自己啓発の意欲向上に繋がっている。	
				65322	人事評価の結果を適材適所の人事配置や公正な処遇につなげることで、職員の意欲向上と個々の能力・組織力の向上を図ります。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 人事評価は平成24年度から本格実施しており、平成28年度から昇任の1要素として活用することとなっている。	
				65323	住民ニーズ、政策課題、職員構成などの変化に柔軟に対応するため、適宜、効果的職員研修を実施します。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 研修事業は新任研修を熊本県市町村職員研修協議会に委ね、当市では現任研修を行うこととしているため、飛躍的に対象者数が増加している。	
		4 行政施設の整備と有効活用	1	65411	財政的に有利な合併特例債の適用期限である平成27年度までの完成を目途に新庁舎の建設を推進します。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 庁舎建設に係る各種申請業務を行い、建設用地の造成及び本体建築工事を行った。建設用地の造成工事の完了後、建築工事を着工し、平成25年度末には、基礎工事を終え、本体の骨組みとなる鉄骨組み立て工事が完了した。平成27年1月の移転開庁に向けて順調に進行している。	
				65412	本庁舎の跡地は、これまでの検討結果を参考にし、有効な利活用策を検討します。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 庁内9課の職員で構成する検討プロジェクトチームにおいて、計4案の利活用策について、様々な観点からの評価を行い、それぞれに評価点と整備優先順位を付し、平成25年10月に利活用策を市長に提案した。なお、玉名市本庁舎跡地等活用検討委員会を設置に向け関係条例の整備準備などを行なった。	
			2	65421	各総合支所は、市民サークルやボランティア団体などが実施する事業の拠点施設として提供するなど、有効活用を図ります。	5. 着手	状況の説明 現庁舎跡地等利活用検討プロジェクトチーム(主管:企画経営課)において検討を進め、新庁舎完成に伴い岱明支所の執務に不要な余剰スペースについて協議を重ね、岱明支所庁舎余剰スペースの利活用策(案)を作成し、施設の集約化に向けて関係団体の意見聴取を行った。	
			3	65431	『公共施設マネジメント白書』を作成します。	1. 達成 (完了)	状況の説明 124施設を20用途に分類し、施設の配置状況、管理運営状況、利用状況等に関する実態把握を行なった。また、市の将来人口予測、今後の更新コストの試算、自治区別の実態等についても把握し、マネジメント白書において、様々な課題や問題等を整理した。	
				65432	平成24年度までに『公共施設配置計画』を策定し、適正な配置と整備を推進します。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 地域や団体等代表者や有識者等の15名で構成する検討委員会により、今後のマネジメントの必要性等が市に建議されたことを受け、将来的なマネジメント方針や削減目標等を設定した適正配置計画を策定した。この方針等をもとに翌年度から策定する長期保全・整備計画に沿い、これからは実際の改善行動に移る。	